

[第8章 付録]

問 5-7 これまでの、そしてこれからの高専専攻科制度について、特に改善した方がいい点や要望など、専攻科修了生としてのご意見をお聞かせください。

■ 授業の充実(16件)

- ・ 強いて言えば放送大学の受講の仕方,もっと個人で選べるようにはできないのでしょうか(1998年修了)
- ・ 何か一つ自信が持てるものを得て卒業して他大学との交流(研究的な)の増加・よりいっそうの英語教育の特化と特別研究に関する周辺知識の講義の充実(1998年修了)
- ・ 英会話の授業があれば良かった(1999年修了)
- ・ 職種に必要な専門分野を系統付け,指導する事。放送大学よりは直接教員が指導する方が理解が深まると思う(1999年修了)
- ・ 英語教育にもっと力を入れてほしい。必ず必要になるから(2001年修了)
- ・ 製品設計をしています,開発には[満足しなければならぬスペック][コスト][量産性][信頼性]が付きまといま。在学中にはあまり気にしていませんでしたが,重く関連づけています(2002年修了)
- ・ 社会に出る直前の準備として,希望する分野への専門知識を深めるか,再確認する場があると良いと思います。私の場合は,本科一年生で学んだ設計製図をもっと勉強しておけば良かったと思います(2002年修了)
- ・ 社会では,専門知識だけではなく,経理,経済に関する知識がとても重要でしたので,経理,経済の教育も必要ではないのかと思います(2002年修了)
- ・ 世界に目を向けた企業が多い中,英語でプレゼンできる人材の育成(2003年修了)
- ・ 選択できる科目が少ない(2003年修了)
- ・ 専攻科(高専含む)の専門レベルは高いが,専門に特化したスペシャリストになりがち,証券や経理などお金に関する教育にも目を向けて欲しい(2005年修了)
- ・ 今年就職して思ったのが,Communication 能力が欠如している専攻科生が多い。能力は確かに備わっているが,それを表現できる人を作ってほしい(2005年修了)
- ・ 専門性を深める為に,より早く基本的教養を身につける事(2006年修了)
- ・ 他大学との交流(研究的な)の増加・よりいっそうの英語教育の特化と特別研究に関する周辺知識の講義の充実(2006年修了)
- ・ 英語が特に弱い(2007年修了)
- ・ 設計能力を向上させる教育(SE は基本計画,基本設計,詳細設計,製作,テストフェーズを一貫して実施する)(2007年修了)

■ システムの改善(3件)

- ・ 研究室は人数でしめきるのではなく,好きな研究をさせるべき(最終的な就職に結びつく事が多いので)(2001年修了)
- ・ 特別研究の担当教官に役職(主任等)がある場合,教官とのコミュニケーションがなかなかとれず,困った事がありました。この点改善いただければと思います(2005年修了)
- ・ もっと時間を与えて資格試験などに使える時間を与えて欲しかった(2007年修了)

■ 専攻科 PR の充実(5件)

- ・ 企業ではまだ認知されていない。全高専協力し,積極的な PR 活動を(1999年修了)
- ・ 改善されたかも知れませんが,試験資格申請時の大卒同等の扱い,知名度の向上をお願いします(2000年修了)
- ・ 専攻科での教育は私にとってとてもためになりました。きっと他の大学に負けていないだろうとも思います。ただ専攻科の知名度が低く,「本科となにがちがうのか?」と問われます。本科と専攻科の違いを,学校側がもっとしっかり PR してほしいです(2003年修了)

- ・就職活動は個人の問題とはいえ、教員とともに活動できるような体制にして欲しい。また、専門講義と就職して行くものをうまくリンク付けしたものにしたい(2004年修了)
- ・就活の際に【専攻科】自体の知名度が低いことに驚きました。知名度がもっと上がれば良いと思います(2006年修了)

■ その他(6件)

- ・専攻科制度はなくすべき(1997年修了)
- ・学校として高い目標を設定するのはかまわないと思うが、そのような意識を学生側が十分に認識しているのか？10代の学生がついて来れないような理念・思想では意味が無いのでは(1999年修了)
- ・高専という枠にとらわれすぎない方が良い(2000年修了)
- ・七年間一貫教育の利点は生かしつつ、他の世界(大学、実社会)に目を向ける時間がもっとあればと思います(2005年修了)
- ・大学では難しい充実した指導が可能な点はより生かした方がよいと思います(2006年修了)
- ・学士の試験は、春のも受ければ受けたら良いのでは？あと専攻科交流会はレベルが人によって違いすぎて行く必要がないのでは？(2007年修了)

高専に望むことを以下の項目ごとに書いて下さい。

問 5-8a 後輩へのアドバイス

■ 勉強の重要性

【本科】(45件)

- ・与えられた環境を100%活かして勉強してください(1979年卒業)
- ・最低留年しない程度の勉強し、適度に遊ぶこと(1980年卒業)
- ・目標を持って勉強すれば、より身につくと思う(1980年卒業)
- ・しっかり勉強！(1980年卒業)
- ・2~4年生で気を抜かず、しっかりと学力を付けること(1981年卒業)
- ・授業を真面目に受けて卒業すれば、困ることはない(1981年卒業)
- ・準備されたカリキュラムには、真面目に取り組んでください(1982年卒業)
- ・学ぶことは楽しいことであると感じられるようになって欲しい(1982年卒業)
- ・よく勉強し、よく遊ぶ。自主性、将来性を考える(1982年卒業)
- ・今の状況にあまえることなく、勉学に励んで下さい(1983年卒業)
- ・自分の将来への繋がるように学べ(1984年卒業)
- ・試験では、1番の成績がとれるよう、しっかり勉強しておいて欲しい。社会に出て、必ず役に立つから(1985年卒業)
- ・良くあそび、一生けんめい学ぶ(1985年卒業)
- ・しっかり学んで、しっかり遊んでください(1988年卒業)
- ・『学生のころもっと勉強しておけばよかった。』と後悔しないようにしっかり勉強してください(1990年卒業)
- ・しっかり勉強してください(1991年卒業)
- ・しっかり勉強しよう(1993年卒業)
- ・学校でやること(勉強はもちろん、他活動も)をしっかりやってください。バイト・遊びはいつでもできます(1993年卒業)
- ・勉強するクセをつけておいたほうが良い(1994年卒業)
- ・就職してから勉強することがほとんどです(1995年卒業)
- ・与えられることだけをやるのではなく、自分が興味をもって勉強してほしい(1997年卒業)
- ・目的をもって勉強にはげんでください(1997年卒業)

- ・ 高専での勉強は必ず役に立つので、後悔しないようまじめに取り組んでほしい(1997年卒業)
- ・ 学生の間、本気でしっかり勉強したら、後々いい結果となってあらわれてくるので頑張ってください(1998年卒業)
- ・ 後悔しないようにしっかり勉強してください(1998年卒業)
- ・ ちゃんと勉強した方がいいよ。(1998年卒業)
- ・ 高専の勉強は必ず役に立つ(1998年卒業)
- ・ 就職する会社も、業務によって授業内容が必要ではないことも多いと思うが私の場合は、苦手分野が特に必要とされる仕事だったので、勉強はまんべんなくしてほしい(1998年卒業)
- ・ 勉強しないと苦労します。(1998年卒業)
- ・ 高専5年間は最も充実した時間でした。勉強も遊びもおもいきり(1999年卒業)
- ・ 勉強は好き嫌いができても仕事は好き嫌いができません。今のうちからコツコツと(1999年卒業)
- ・ 恵まれた環境なので、しっかり利用して勉強してください(1999年卒業)
- ・ アルバイトばかりでなく、もっと授業に集中しよう(2001年卒業)
- ・ 過去問を使わない(2002年卒業)
- ・ きちんと理解すれば高専の授業内容はとても役に立つのでしっかり聞きましょう(2002年卒業)
- ・ 一番大切なのは勉強(2002年卒業)
- ・ 自由だけど勉強した方がいい(2002年卒業)
- ・ 英語を勉強して損はない(2003年卒業)
- ・ 目的を持って勉強に励んで下さい。自由を生かしてください(2003年卒業)
- ・ 1つでも多くの単位を修得して卒業してほしい(2004年卒業)
- ・ 授業ノートだけでなく、参考書をすみずみまで読んで欲しい(2005年卒業)
- ・ 役に立たないと思っても、意外に役に立つことが多いので、勉強はしっかりした方がいい(2006年卒業)
- ・ 興味を持って、勉学に励んで下さい(2007年卒業)
- ・ 勉強はやっぱり大事(2007年卒業)
- ・ 高専で習ったことが大学でも通用することがあるのでよく勉強した方がいい(2007年卒業)
- ・ テストの前だけ勉強するのではなく、コツコツ勉強してしっかり力をつけた方がいい(2007年卒業)

■ 専門性の向上(実践力、創造性)

[本科](35件)

- ・ 実践力を身につける(1979年卒業)
- ・ 自分で考える力を身に付ける(1979年卒業)
- ・ 物事に対して自分で組み立てる力を養うこと(1979年卒業)
- ・ 高専に入る以上は専門技術を身につけること(1980年卒業)
- ・ 自分の好きなことを専門の中から見つけてください(1980年卒業)
- ・ 単に試験の成績向上を望むのではなく、考えるプロセスを大切に(1980年卒業)
- ・ 自分で考えることを早く気付いて欲しい(1981年卒業)
- ・ 学に新しい技術に目を向けて欲しい(1983年卒業)
- ・ 技術は日々進歩、常に新しいテクノロジーを追求することを忘れずに!(1983年卒業)
- ・ 自己解決、自立(1984年卒業)
- ・ 自己研鑽(1984年卒業)
- ・ 自分で調べ、考え、解決する姿勢を身に付けて下さい(1984年卒業)
- ・ 社会人になるには、バイタリティと自己啓発(興味を持つこと)(1984年卒業)
- ・ 創造力、自己啓発(1984年卒業)
- ・ 1つ好きな分野を見つける(1984年卒業)
- ・ 得意分野を持つこと(1985年卒業)
- ・ 技術力を磨いて欲しい。全てのカリキュラムが得意分野である必要はなく、1つでよいので得意分野を伸ばして欲しい(1987年卒業)
- ・ 実験実習は誠実に行ってください 高専の財産になると思います(1987年卒業)

- ・ 課題は楽しんでやること(1988年卒業)
- ・ 社会で十分通用する技術が学べる(1988年卒業)
- ・ 創造力・独創性を養ってほしい(1990年卒業)
- ・ 技術は必要ですが、技能も必要となってきます(1994年卒業)
- ・ 自分で物を造るという、意思をもってほしい。自主性(1994年卒業)
- ・ 専門的な知識は非常に役に立つ(1996年卒業)
- ・ 卒業研究は力を入れて取り組んでください(1996年卒業)
- ・ プレゼン能力を養って下さい。会社では、この能力でも評価が変わります(1999年卒業)
- ・ 課題を把握し解決する力を身につけて下さい(2000年卒業)
- ・ 今している学習の本質を学ぶ。表面を覚えるだけでは意味なし(2001年卒業)
- ・ 大学に負けない技術力(2002年卒業)
- ・ 知識よりも知恵を身に付けてほしい(2002年卒業)
- ・ 知識だけでなく実践的な経験(成功・失敗両方)をしてください(2005年卒業)
- ・ 専門技術は頑張ってください(2006年卒業)
- ・ 高専5年間でとくに専門分野の腕を磨いて欲しいと思った(2006年卒業)
- ・ 1つ1つの科目をよく理解し、応用できるようにする(2007年卒業)
- ・ 専門科目は妥協せずとことん勉強した方がいいです(2007年卒業)

■ 基礎が重要

【本科】(24件)

- ・ 基礎が大事である(1979年卒業)
- ・ 数学・物理そして英語の基礎学力は大切。また古典や歴史は管理職くらいになると有効(1979年卒業)
- ・ 基礎が重要(1980年卒業)
- ・ 基本をしっかり身につけて(1980年卒業)
- ・ 基本を身に付けておけば世界中で通用する(1982年卒業)
- ・ 昔の高専と現在は大きな違いがあるのでコメントしにくいのですが、力学でも語学でも基礎的な事をくり返し学び、完全に身に付けることが重要だと思います。それさえできれば、必要なことは社会に出ても応用が利くと思います。私の時代では語学、情報の基礎は不十分だったと感じています(1982年卒業)
- ・ 高専できちんと基礎を身につけてください。そうすれば大学生にも負けません(1983年卒業)
- ・ 社会に出たらまずは国語力が大切です。日本語しっかり勉強して下さい(1983年卒業)
- ・ 専門的な基礎知識はしっかりと身につけるように(1984年卒業)
- ・ 基本的技術力を確実なものとして下さい。自信がもてます(1987年卒業)
- ・ 政治経済など、一般常識を身につけ、専門のみに片寄らないこと(1987年卒業)
- ・ 教養科目、専門科目の区別なく、基礎をしっかり勉強することが大切(1988年卒業)
- ・ 基礎知識と一般常識をしっかり身につけること(1990年卒業)
- ・ 社会は厳しい。経営・法律を学んだほうが良い(1990年卒業)
- ・ 応用より基礎を確実に(1999年卒業)
- ・ 一般常識を磨いてください(2000年卒業)
- ・ いろいろな本を読むこと(2000年卒業)
- ・ 基礎学力は確実に身に付けておくこと(2000年卒業)
- ・ 基礎的な知識は身に付けておくこと(2002年卒業)
- ・ 受験(大学入試)がない分、一般教養知識が弱くなりがちなので気をつけてほしい(2003年卒業)
- ・ 一年生からの積み重ねが大切。特に数学系、英語系の科目(2006年卒業)
- ・ 数学科目の大切さ(2007年卒業)

■ 語学力の向上

【本科】(22件)

- ・ もっと語学力を身につけて欲しい(1982年卒業)
- ・ 英語力は必要です。(TOEIC650点以上)(1983年卒業)
- ・ 英語を勉強(1983年卒業)
- ・ 語学をやっておいたほうがいい。特に英語(1983年卒業)
- ・ 専門教育はもちろんの事これからの仕事は、最低英語が必要となっています。第二外国語として、中国語等の余裕があれば良いかと思います。がんばって下さい(1985年卒業)
- ・ 英語を勉強してください。コミュニケーション能力をつけて下さい(1986年卒業)
- ・ 技術力は、大学卒に負けないので自信をもって。英語をしっかり身に付けて(1987年卒業)
- ・ 英語をしっかり(1988年卒業)
- ・ 海外で仕事をすると、日本よりもレベルが高いことに気付く。その時に英語が必要です。インターネットでも英語です。とにかく語学とコミュニケーションがとれれば仕事も生活も楽(できない人よりも)(1988年卒業)
- ・ 語学力を身に付けてほしい(1989年卒業)
- ・ 英語力をつけること(グローバル化がとて進んでいます)(1990年卒業)
- ・ 語学力 TOEIC450以上(1990年卒業)
- ・ 英語力は必ず必要。英語が使えることでメリットは非常に大きい(1991年卒業)
- ・ 英語力を身につけて下さい(1992年卒業)
- ・ コミュニケーションを図るツールとして、英語は不可欠です(1992年卒業)
- ・ 勉強すること。特に外国語。きちんとやった者が勝つ(1992年卒業)
- ・ 一般教養・英語もよく身に付けてください(1995年卒業)
- ・ 英語・中国語が重要になってくる(1996年卒業)
- ・ 英語をおろそかにしないでほしい(1996年卒業)
- ・ 英語は学内で比べるのではなく学外のレベルと比べる(1997年卒業)
- ・ 英会話をもっと勉強しましょう(2004年卒業)

■ 資格取得の重要性

【専攻科】(2件)

- ・ 資格試験に挑戦し、在学中に有効な資格を取ってほしい(2003年修了)
- ・ 資格を多く取る努力をしてください(2001年修了)

【本科】(7件)

- ・ 資格+実力を備えて欲しい(1983年卒業)
- ・ 学生のうちに取れる資格は科をとわず取っておくといいと思う(1987年卒業)
- ・ ひとつでも多くの資格を取得し、専門分野の基本を身につけておくこと(1989年卒業)
- ・ 資格は積極的に取得すること(1993年卒業)
- ・ 資格をたくさんとろう。就職した先輩の話がたくさん聞き、将来の展望をたてよう(2000年卒業)
- ・ 在学中から資格の取得へ意欲を出してほしい(2003年卒業)
- ・ 在学中に資格等にチャレンジした方がよい(2005年卒業)

■ 人間性を磨く

【専攻科】(6件)

- ・ 視野を広く(2000年修了)
- ・ 社会では、コミュニケーション能力がとて重要になります。いろいろな事にチャレンジして、広い視野を得るとともにコミュニケーション能力を磨いてください(2002年修了)
- ・ 人脈は生命線です(2002年修了)
- ・ 同級生との協調性を大事に(2004年修了)

- ・ 外へ出ること, 外に出る事で自分の価値観・視野が広がる(2005年修了)
- ・ 学校以外でも機械を触った方が良いと思います(2007年修了)

【本科】(60件)

- ・ 色々と経験しておくことが大事だと思います。(1978年卒業)
- ・ 当社での評価として, 行動力, コミュニケーション, 実践力での評価は高い。専門知識と語学力のアップが必要(1978年卒業)
- ・ 社会貢献できる人に育ってほしい(1979年卒業)
- ・ 学業だけでなく人間性もみがいて下さい(1979年卒業)
- ・ 基礎学力は大事。仕事をする上では協調性, コミュニケーション能力も重要です。技術も大事だがヒューマンスキルもみがきましょう(1979年卒業)
- ・ PC操作を今の内に幅広く学ぶ。コミュニケーション能力の向上。人間性を磨く(1980年卒業)
- ・ 学問を取得することはもちろんですが, 一生つき合える仲間, 友達を作ることも大切です(1981年卒業)
- ・ 授業で学ぶことだけでなく, 世界で実際に起きている事を興味を持って調べることが大切(1981年卒業)
- ・ 視野を広め, 何事にも挑戦する姿勢を持って欲しい(1981年卒業)
- ・ たくさんの友人を高専でつくって下さい(1981年卒業)
- ・ 何事にもチャレンジしていく強い関心を持つこと(1982年卒業)
- ・ 前向きにチャレンジ精神を持つ(1982年卒業)
- ・ 人とのコミュニケーションを大事に!(1982年卒業)
- ・ 勉強も大事だが, 部活, 卒研などを通じて「人間力」を磨いて下さい(1982年卒業)
- ・ 人間的教育(1983年卒業)
- ・ 要領よく, 気配りできる人間形成(1986年卒業)
- ・ 何事もチャレンジする。卒業して10年たてば, 学歴はない(1986年卒業)
- ・ 先生, 先輩の教えを学ぶこと(1987年卒業)
- ・ 人間関係が一番大切です(1988年卒業)
- ・ 部活には入りましょう。(1988年卒業)
- ・ 心, 体を鍛えること, 気を配れる人になってほしい(1989年卒業)
- ・ 浅く広く, 幅広い分野を学ぶと有利(1989年卒業)
- ・ 将来, 何が「きっかけ」になるかわからないので, できるだけ「参加・挑戦・経験」する方が良い(1989年卒業)
- ・ 在学中に社会性を多く学んで欲しい。特に言葉づかい(1989年卒業)
- ・ 積極的な人間関係の構築(1990年卒業)
- ・ 勉強以外にもアルバイト, 旅行等, 社会勉強になることをぜひしてほしい(1990年卒業)
- ・ 色々なことにチャレンジして欲しい(1990年卒業)
- ・ コミュニケーション能力を高めておいてください。実社会でプラスです(1991年卒業)
- ・ 高専という狭い世界だけではなく, 学校以外の人とも接する機会を増やし, 視野を広げてほしい(1991年卒業)
- ・ 様々なことを経験してほしい(1992年卒業)
- ・ 専門分野に限らず, あらゆることに問題意識をもってほしい(1992年卒業)
- ・ 今しか出来ないことをやっておきなさい。何事にも挑戦し続けなさい(1994年卒業)
- ・ 5年間は, 勉強ばかりでなく, 本を読んだり, パイトしたりも重要(1994年卒業)
- ・ 授業はもちろん大切ですが, 授業以外のこと(クラブ活動, 趣味, 旅, アルバイト etc.)も大切に!(1994年卒業)
- ・ たまには専門以外の分野にも目を向けてください(1994年卒業)
- ・ 自主的に色々なことを経験することが必要。教えてもらうだけではダメ(1995年卒業)
- ・ 自分で見て, さわって, 感じてよく考えて, いろいろなことに興味をもってそして疑問を持ってがんばってほしいです(1995年卒業)
- ・ 同級生とのネットワークを大切に(1995年卒業)
- ・ 就職までに社会経験をして応用力を磨いてほしい(1996年卒業)

- ・ 勉学も大切であるが、5年間で世界を感じることができるようにしたら良いと思う(海外旅行等)(1997年卒業)
- ・ 礼節を身につけ社会に出るように(1998年卒業)
- ・ 頭でっかちで情操教育がなっていない人が多いので、勉強以外にもいろいろ経験すべき(1998年卒業)
- ・ 専門知識に偏らず、世間の物事を理解できる人間になってほしい(1998年卒業)
- ・ 社会に出ると、人間関係がさらに大事になるし、人脈を広げると、仕事もうまく進むことがあると思う(1999年卒業)
- ・ 勉強以外の経験(学生会・クラブ活動等)もたくさんして欲しい(1999年卒業)
- ・ アルバイトをする、インターンシップを利用する(2000年卒業)
- ・ 勉強だけでなく、クラブや校外活動をしてたくさんの人々と接することが大切と思う(2000年卒業)
- ・ よく学び、かけがえのない友達を見つけ、バイトも部活もとにかく色々経験して下さい(2000年卒業)
- ・ 広い視野を持ってください(1999年卒業)
- ・ コミュニケーションできることが大切！(2002年卒業)
- ・ 学生会はやった方が良い(2005年卒業)
- ・ 授業、クラブ活動、何事も悔いが残らないよう一生懸命頑張ってください(2005年卒業)
- ・ クラスの友達を大切に(2006年卒業)
- ・ コミュニケーション能力を養うように努力してほしい(2006年卒業)
- ・ 何ごとも勉強と思ってやっておく(2006年卒業)
- ・ 明るく元気な技術者であること(2007年卒業)
- ・ 5年間、しっかり濃い時間を過ごし、学生間ではしっかり親睦を深めて！(2007年卒業)
- ・ 課題活動(部活動、学生会など)への積極的な活動を望む(2007年卒業)
- ・ 人間関係を重視してほしい(2007年卒業)
- ・ 幅広い年齢の人がいるので、学年越えて付き合いが多いと良い(2007年卒業)

進路選択

【専攻科】(5件)

- ・ 高専には進学しないほうが良い(1997年修了)
- ・ 将来の職業観をしっかり持つ(1998年修了)
- ・ 大学院に積極的に進学を(1999年修了)
- ・ 社会・仕事がどのようなものか、学生のうちにできるだけ把握する(2002年修了)
- ・ 進路は早めに考えた方がよい(2005年修了)

【本科】(39件)

- ・ 5年間で将来何をしたいのかを見つけること(1979年卒業)
- ・ 高専で学習した事は社会に出るとほとんど役に立たない(1979年卒業)
- ・ 社会において、高専は高い評価を得ている頑張り(1980年卒業)
- ・ 将来の目標を描き、それに向けた取り組みを実践する(1980年卒業)
- ・ 仕事に対する熱意を持って(1981年卒業)
- ・ 実力は大卒に劣ることはない(1981年卒業)
- ・ これからの土木建築業は先行きは、暗いです(1982年卒業)
- ・ 大企業へ入社するなら、学士以上は必須(どんな大学でも待遇は上)(1982年卒業)
- ・ 出来れば学士まで取得した方がよい(1982年卒業)
- ・ 具体的な夢は早く描き、それに向けて少しでも知識を持つようにしてください(1985年卒業)
- ・ 人生を賭けることのできる就職先を見つけて下さい(1985年卒業)
- ・ 自分のやりたいことを早く見つけてそれを目指して頑張ってください(1986年卒業)
- ・ 将来の目標をはっきり持つ(1986年卒業)
- ・ できれば進学すること！！(1986年卒業)
- ・ 自分のやりたい事を早い段階で決め、目標化して下さい。5年間は短い(1987年卒業)

- ・ 就職後, 10 年後 20 年後まで見すえ今何をしておくべきかを考えておいて下さい(1988 年卒業)
- ・ 技術者になれるところに就職して欲しい(1989 年卒業)
- ・ 将来の進路を早期に明確にすることが良いと思う(1990 年卒業)
- ・ 大学へ行った方がよい(1990 年卒業)
- ・ 学歴は関係ない(1991 年卒業)
- ・ 大学進学(1992 年卒業)
- ・ 卒業後も継続して学ぶ志を持ち続けて下さい(1992 年卒業)
- ・ エンドユーザーを意識する(1992 年卒業)
- ・ 実社会での労働をシミュレーションして何をすべき時期か考えて遊び, 勉強に取り組んでほしい(1993 年卒業)
- ・ 自分が何をしたいかを早期に見つけ, 目標を持ち向上すること(1993 年卒業)
- ・ 就職先を早めに決めて, それに対する今出来る限りの勉強をする事(1995 年卒業)
- ・ 高専に入学した時点で早めに就職を視野に入れてください(1996 年卒業)
- ・ やりたい仕事が見つからなければ進学という手があります(1996 年卒業)
- ・ 学んだことをお客様にとどけるイメージをふくらませること(1998 年卒業)
- ・ 会社はなかなか高専卒を認めてくれないけど頑張る(1998 年卒業)
- ・ 遠慮しないこと。特に, 進学, 就職先を決める時に遠慮していると夢をつかめません(2000 年卒業)
- ・ 将来の職業を早めに定めて専門を磨くこと(2001 年卒業)
- ・ 社会はツライ(2002 年卒業)
- ・ 大学進学を行うことは世界観を広げると思う。広い視野を持ってください(2003 年卒業)
- ・ 高専に入ったからといって将来工学系に就職したらいいとは限らない(2004 年卒業)
- ・ 進学(専攻科や大学)をもっと真剣に考えてほしい(2004 年卒業)
- ・ 就職する時は, 積極的に工場を見学すると決めやすくなる(2006 年卒業)
- ・ 進学した方がプラスになる(2007 年卒業)
- ・ 大学進学(できるだけ勉強したほうが良い)(2007 年卒業)

■ 学生生活心構え・励まし

[専攻科](16件)

- ・ 専攻科の良さを社会にアピールし続けてください(1998 年修了)
- ・ 自分の現在おかれている状況をよく認識しておく事(1999 年修了)
- ・ 目標に向かって進み続ける意志を持ってください(1999 年修了)
- ・ 勉学はもちろんですが, 部活やその他の趣味でも精一杯頑張ってきた(1999 年修了)
- ・ 普通高校に比べ, 長期的に学習できる(2000 年修了)
- ・ 大学受験に使うべきだったエネルギーを有効に使ってください。高専のメリットです(2001 年修了)
- ・ プレゼン能力の上達(2003 年修了)
- ・ 研究や演習をやるときにやる項目, スケジュールを考えて計画的に取り組んで欲しい(2004 年修了)
- ・ 自分の興味あるものを貫いてほしいです(2005 年修了)
- ・ 高専で学ぶ事は, 人生のごく一部。常に自分の可能性を広げて行ってください(2005 年修了)
- ・ 基本の理解ができるシステムが望ましいです(2006 年修了)
- ・ 身体は大切にしてください。身体が資本の世界です(2006 年修了)
- ・ 研究や実験等実際に体験できる科目は貴重だと思います(2006 年修了)
- ・ 遊ぶ時間と学習する時間にメリハリをつける(どちらも大事)(2007 年修了)
- ・ 修了要件は早めにクリアしましょう(2007 年修了)
- ・ 人前でのプレゼンには慣れておいた方が良い(2007 年修了)

[本科](79件)

- ・ 自信を持って, 社会へ出て欲しい(1979 年卒業)
- ・ 惰性で 5 年間で過ごすのではなくしっかりと今を見つめて欲しい(1979 年卒業)

- ・「高専」という意識を常に持ち続けていく事が、他の教育システムを選んだ方との差別かとなる為、誇りを持って欲しいと思います。教員の方々には大変お世話になりましたので、この場でお礼申し上げます(1980年卒業)
- ・5年間地道な努力を続けることは大きな力になる(1980年卒業)
- ・5年間を有効に使って欲しい(1980年卒業)
- ・5年制一貫教育の良さを出して下さい(1980年卒業)
- ・自主性を養ってもらいたい(1980年卒業)
- ・何事においても向上心を忘れたら企業ではダメ(1980年卒業)
- ・幅広い視野を求められるので、バランス良く思考すること(1980年卒業)
- ・帰宅部に入らず、時間を思い切り学生でいられる時間を費やす(1981年卒業)
- ・高専生は、学卒への損色は全く有りません。自信を持つことが大事です(1981年卒業)
- ・自分の信じたことに粘り強く取り組むこと(1981年卒業)
- ・自分の得意・不得意(向き、不向き)を見つけよう(1981年卒業)
- ・父親の考えに耳を傾けて(1981年卒業)
- ・常に疑問を持つこと(1981年卒業)
- ・ナシ(1981年卒業)
- ・与えられて行うのではなく、考えて行う(1982年卒業)
- ・信じ、頑張れば道はある。運も大事(1982年卒業)
- ・どう転ぶかわからない。今をガンバレ！(1982年卒業)
- ・外国の技術者との競争になります。頑張りましょう(1983年卒業)
- ・社会から見た高専生に位置づけを見解し、取り組むこと(1983年卒業)
- ・何にでも興味を持ち、まず実行しよう(1983年卒業)
- ・技術レベルにこだわらなくてよい。勉強だけではない(1985年卒業)
- ・細かい事にとらわれず、もっと自由に色々なはっそうができる人になろう(1985年卒業)
- ・人生の中で一番輝いている5年間を大切にしてください(1985年卒業)
- ・後で後悔することのないように前向きに考え行動すること(1986年卒業)
- ・夢中になれる何かを見つけて欲しい(1987年卒業)
- ・5年は長いですが、くじけずに卒業して下さい(1988年卒業)
- ・今の時間を大切に(1988年卒業)
- ・目的・目標を持つこと(1988年卒業)
- ・誠実さ(1989年卒業)
- ・何事にも全力で取り組んで欲しい(1989年卒業)
- ・この学校の教育が社会で活かせるかどうかは今の自分の頑張り次第です。同年代の人に対し5年の専門教育はアドバンテージがありますので時間とチャンスをお効に使い学生生活を楽しんでください(1990年卒業)
- ・思うことを思い切りするようにする(1990年卒業)
- ・軽い気持ちで入学するくらいなら、普通科で判断を遅らせる方が良い(1990年卒業)
- ・夢を持って(1990年卒業)
- ・高専で学んだ事に自信を持って歩いて行ってください(1991年卒業)
- ・1度選んだ道は信念をもってすすむこと(1992年卒業)
- ・疑問点は調べる事(1992年卒業)
- ・失敗を知ること。失敗を活かすこと(1992年卒業)
- ・常に目標を持つ。自分自身何がしたいのか、学生時代に悩むこと(1992年卒業)
- ・逃げるな。強い信念と忍耐力を学ぶこと(1992年卒業)
- ・5年間という期間は長いようで短いので目標を持って頑張ってください(1993年卒業)
- ・学歴は関係なく、死ぬ気でガンバレ！！したらなんとかなるよ(1993年卒業)
- ・自信を持ってほしい(1993年卒業)
- ・今を大切に過ごして欲しいと思います(1994年卒業)
- ・最後までやりとげること(1994年卒業)

- ・興味を持ったことにとことんのめり込んでください。その姿勢が社会で役に立ちます(1996年卒業)
- ・自分をしっかり持っていればこんな楽しい学校はないと思いますのでがんばってもらいたい(1996年卒業)
- ・何事も興味を持って取り組める人物になれ(1996年卒業)
- ・3現主義の実行(1997年卒業)
- ・徳山高専卒に誇りをもってください(1997年卒業)
- ・早いタイミングでやりたいことを見つけてください(1997年卒業)
- ・高専の5年間は社会に出ても有効。しっかり今を大切に(1998年卒業)
- ・進むべき道をきめたら、それに向かい努力する(1998年卒業)
- ・限られた時間を有効に使うことを意識して日々を過ごして欲しい(1999年卒業)
- ・社会と学校はちがう(2000年卒業)
- ・やるべき事をやって、自由な校風を生かそう!!(2000年卒業)
- ・社会に出るとき、自分に自信を持ってください(2001年卒業)
- ・やる気になれば遅いことはない(2001年卒業)
- ・流されず自分をもとう!しかし、人の意見もしっかり聞こう(2001年卒業)
- ・高校より、設備・教官の方々等優れているので有効に活用してほしい(2002年卒業)
- ・今をエンジョイしてください。(2003年卒業)
- ・5年間頑張ってもらいたい(2004年卒業)
- ・自分の行いたいこと、やりたいことをすること。(2004年卒業)
- ・なし(2004年卒業)
- ・何事にも言えますが、社会に出て学校で学んだことの意味を知ることが多々あるので、頑張ってください(2004年卒業)
- ・自分自身が何をやりたいのかをしっかりと見つけて行動すること(2005年卒業)
- ・今しかできないことは今やりましょう(2006年卒業)
- ・がんばってください(2006年卒業)
- ・絶えず向上心を!(2006年卒業)
- ・中身がないと5年間は短い。常に目標を持っておくといい(2006年卒業)
- ・入る時には優秀にも関わらず、その後努力せずに伸び悩むケースが多い(自分も含む)(2006年卒業)
- ・学校に頼るな。基本的に学校は何もしてくれない(2007年卒業)
- ・何か一つでも好きなことや興味のあることを持ってください(2007年卒業)
- ・目標を明確に持ち日々の生活を送ること(2007年卒業)
- ・目標を持って生活すべし(2007年卒業)
- ・やりたいことを明確にすればできないことはないです(2007年卒業)
- ・早いうちに自分のやりたいことを見つける(2007年卒業)

問 5-8b 教育システム・目標

■ 技術力

【専攻科】(8件)

- ・考える力を磨くように(1998年修了)
- ・放送大学での学習ではなく教員による直接指導(1999年修了)
- ・普通高校の教養レベルは確実に(2000年修了)
- ・創造力を活かすことは基礎学力が必須ですので、そちらに力を入れる(2001年修了)
- ・設計を知らない技術者が自動車業界では増えています。それを補う人材が重要です(2002年修了)
- ・開発・設計を必要とする科目を作って欲しい(2004年修了)
- ・一般常識にも、取り組めるカリキュラムが良いと思います(2006年修了)
- ・実習をもっと増やす(2007年修了)

[本科] (63件)

- ・プレゼンテーション能力向上(1979年卒業)
- ・広く浅くてもOK(1979年卒業)
- ・技術的な基礎を確実に(1980年卒業)
- ・社会にでて、すぐ実践できる内容(現場実習の増)(1980年卒業)
- ・土木から環境系、建設系へシフトを急ぐ、大堂に注目(1980年卒業)
- ・日々の勉強と社会の結びつきをしっかりと教えるシステム(1980年卒業)
- ・広い分野に目を向けて！基礎知識をしっかりと教えて欲しい！(1980年卒業)
- ・目標には具体的数値を盛り込むべき(1980年卒業)
- ・問題解決能力を身に付ける必要がある(1980年卒業)
- ・想像力を養う教育、学生に考えさせる教育(1981年卒業)
- ・工学的センスを実につける。技術者としての自負と倫理をつらぬくつよい能力(1981年卒業)
- ・情報電子工学科の場合、ソフト並のハードウェア実技を有する事を目標とする(1981年卒業)
- ・専門知識、実践力を大卒以上のレベルにする(1981年卒業)
- ・基礎知識をしっかりと取得(1982年卒業)
- ・研究開発が自力でできるようにならないのか(1982年卒業)
- ・社会に出て後悔します。必要な物は、勉強し直しとなり、大変です(1982年卒業)
- ・専門知識をもっともっと身に付けること(1982年卒業)
- ・学に新しい技術に目を向けて欲しい(1983年卒業)
- ・企業の即戦力となるエンジニアの育成(1983年卒業)
- ・基礎学力に力を入れてほしい(1983年卒業)
- ・一般常識の教育も(1984年卒業)
- ・実習を増やす(1984年卒業)
- ・実践的(金銭感覚)な授業を増す(1984年卒業)
- ・学士と同等のスキルが欲しい(1985年卒業)
- ・レポートをしっかりと書けるようになること。夢を与えること(1985年卒業)
- ・自分で考える力をつけるような教育システムにする(1986年卒業)
- ・興味を持ちやすい授業、人の暖かみのある授業を(1987年卒業)
- ・原価管理も身に付けること(1987年卒業)
- ・新技術に段階的にシフトして変更していけばと思います(1987年卒業)
- ・実社会で即戦力となれるよう(1988年卒業)
- ・常に最新の技術・情報が学べる教育システム(1988年卒業)
- ・中途半端→専門性の充実(1989年卒業)
- ・課題、抽出～解決力、プレゼンテーション力の向上(1990年卒業)
- ・企業で活躍できる人材の育成(即戦力として)(1990年卒業)
- ・基礎学力の習得と個性ある技術者の創出(1991年卒業)
- ・早い段階での学会発表を行える為のシステム作り(1991年卒業)
- ・エンドユーザーを意識する(1992年卒業)
- ・問題解決の訓練、集団で仕事をする為のディスカッション能力、仕事の成果をシェアする為のプレゼンテーション能力に力を入れてほしい(1992年卒業)
- ・コンピュータ実務使用は必要(1993年卒業)
- ・低学年からの専門教育、実験卒研による経験重視のシステムは高専の強みです。ブラッシュアップしてください(1993年卒業)
- ・技能を身に付けた技術者(1994年卒業)
- ・高専に「開発型技術者」は求められていない気がします(定義にもよりますが)(1994年卒業)
- ・MOT(技術経営)の考えも必要。技術を利益に変える(1995年卒業)
- ・プレゼン教育の取り入れる(1996年卒業)
- ・まだまだ実践的な教育をしてよいと思う(1996年卒業)
- ・大学の研究にも負けないレベルに達して欲しい(1997年卒業)

- ・得意分野を作る教育(1997年卒業)
- ・企業への就職体験などを充実させ、仕事に必要な知識と授業を結びつけてください(1997年卒業)
- ・1年からもっと専門分野の教育をすべき(1998年卒業)
- ・国立、私立大にはないマイスター的な人間を育ててほしい。加えて一般教養を充実すべき(1998年卒業)
- ・世間のニーズにあったものを取り入れるべきだ(1998年卒業)
- ・時代のニーズに応えることができる人材(2000年卒業)
- ・プレゼンの場が多く必要。卒業研究だけでは少ない(2000年卒業)
- ・社会人になって必要なのは基礎的な力。難しいことをしなくていい(2002年卒業)
- ・なぜその勉強をするのかを最初に教えてほしい(2002年卒業)
- ・表面じゃなく、原理が分かるように(2002年卒業)
- ・製図において、ただ3Dモデルを作るのではなく、それを図面化して、寸法や幾何公差を入れるところまでにしてほしい。1年の時に習っただけなので、会社に入って苦労した(2003年卒業)
- ・品質についての教育の充実(2005年卒業)
- ・将来を見据えて基礎はしっかり身につける(2006年卒業)
- ・チーム課題を増やす。選択科目を増やす(2006年卒業)
- ・「プレゼンテーション能力の高い技術者」とか「生産をすべて統括(網羅)できる技術者」を作るとか具体的な目標を(2007年卒業)
- ・グループワークを増やしたほうがいい(2007年卒業)
- ・もっと絞るべき(2007年卒業)

英語教育

【専攻科】(7件)

- ・英語にもっと力を入れる(1997年修了)
- ・今の状況は分かりませんが、ネイティブと会話をする機会を増やした方が良いかと(1999年修了)
- ・英語力をつけられるようにする(2001年修了)
- ・英語教育は社会人になって特に重要だと感じました。もっと重点的でも良いと思います(2001年修了)
- ・英語が使える技術者(2003年修了)
- ・コミュニケーション能力が備わっている人を作ってほしい(2005年修了)
- ・英語と数学はもっと力を入れた方が良い(2007年修了)

【本科】(35件)

- ・英語をもっと教えて欲しい(1980年卒業)
- ・TOEIC730点以上(1982年卒業)
- ・英語に於いて多種の授業があったが、もっと現実的な英語教育を望みます(1982年卒業)
- ・外国人教師による英会話は良かった(1982年卒業)
- ・英語ができる(TOEIC600点以上)ようにする(1983年卒業)
- ・英語をもう少し増やしたらいいと思います(1983年卒業)
- ・英語教育にもっと力を入れて、3DCADスキルも(1986年卒業)
- ・技術者も外国語が必要(1986年卒業)
- ・英語は必須です(1987年卒業)
- ・国際社会に通用する技術者を目指してほしい。語学力、日本独自の技術力(1988年卒業)
- ・英語でのコミュニケーション能力の向上、TOEICの導入(1989年卒業)
- ・英語力アップ(1989年卒業)
- ・外国語の修得にもっと力を入れてほしい。最先端でやって行くにはやはり英語は重要。それに英語以外の外国語もできれば役立つことがある。英語ならTOEIC730、英検2級を在学時に目指してほしい(1991年卒業)
- ・英語を重点的に教育してほしい(1992年卒業)
- ・語学は英語以外も重要な語学があると思われる(1992年卒業)

- ・ 話す英語の教育は大切だと思う。(1992年卒業)英語力を強化できるように(1993年卒業)
- ・ 語学力(英語)修得カリキュラムを設ける(夏休みの短期ホームステイ etc)(1993年卒業)
- ・ 英語は当時、中学レベルのカリキュラムだったと思います(1995年卒業)
- ・ 英語と専門知識の融合(1996年卒業)
- ・ 英語を「話せるように」してほしいです(1996年卒業)
- ・ 英会話能力をつける。テスト英語では役に立たない(1998年卒業)
- ・ 英語に関して、読み書きは必須ですが、聞く、話す能力が必要なことを、仕事をしながら実感してます。ネイティブの人と話す機会があれば良いなと思います(1999年卒業)
- ・ 英語力がとても弱いです。もっと徹底的にやるべきです(1999年卒業)
- ・ もっと実践教育を取り入れ、英語は座学より絶対、実践第一！(2000年卒業)
- ・ 海外にしか枠がない職業が増えているので英語を強化(2001年卒業)
- ・ 世界に通用するためには論文の読み書きが必要ですが、今のままではそこまでいかないでしょう。少なくとも英語の論文をある程度読むことはさせておくべきだと思います(2002年卒業)
- ・ 英語教育、専門科目のウエイトをもう少し上げてほしい(2003年卒業)
- ・ 英語能力が低すぎる。TOEIC400～500は必要(2003年卒業)
- ・ 英語教育にもっと力を(2004年卒業)
- ・ もっと英語に力を入れたほうがよい。進学校に比べておとる(2004年卒業)
- ・ 英語の強化(2007年卒業)
- ・ 英語のレベルが低いので、全体的に生徒のレベルを上げる(2007年卒業)
- ・ 特に、英語力が弱かったと感じるので英語授業の強化(2007年卒業)
- ・ 英語力についてもう少し向上する必要がある(2007年卒業)

資格

[専攻科](3件)

- ・ 資格取得の強化(2004年修了)
- ・ 学内試験の他にも、外部資格で評価する方法をもっと増やしてほしい(2005年修了)
- ・ 国家資格が取れるようなカリキュラムを(2007年修了)

[本科](15件)

- ・ 在学中に資格を取るなど具体的な目標設定が有効(在学中には紹介なし)(1979年卒業)
- ・ 技術分野の資格取得を義務づける(1980年卒業)
- ・ 基本的な国家資格の取得・TOEIC500点以上を進めて欲しい(1981年卒業)
- ・ 資格を取る為のシステムを作るべきである。(1981年卒業)
- ・ いろいろな資格試験の情報を取り入れて、多くの資格を在学中にとれるといいと思います(1983年卒業)
- ・ 資格取得に積極的に支援する(1990年卒業)
- ・ 国家資格の合格(1992年卒業)
- ・ 社会貢献できる知識・技術・知恵を資格という形で必ずとる(1992年卒業)
- ・ 資格、免許を多くとらせて下さい。サラリーマン養成所にならないよう(1994年卒業)
- ・ 資格とかを目標にさせた方がよいのでは(1998年卒業)
- ・ 高専卒は高卒と大差ない感覚。資格取得を意識した目標を！(1999年卒業)
- ・ 電気主任技術者や危険物甲種、無線技術者などの資格を学生のときに勧めるべきだと思う。それを目標に勉学に励むこともできる(2001年卒業)
- ・ 在学中に取得できる資格を受けさせるシステム作り(2002年卒業)
- ・ エネルギー、管理工等、資格取得を授業の目標としては(2003年卒業)
- ・ 資格を在学中に取りやすくなるいいと思います(2006年卒業)

人間教育

[本科] (19件)

- ・ 学内では教育はもちろんですが、学外との交流を広めてほしい(1980年卒業)
- ・ 人間性の豊かな技術者の育成を望む(1980年卒業)
- ・ 5年は長い。具体的な目標があれば有効な時期となるがそうでなければ無駄な5年となる可能性大。卒業生に話をしてもらおうか(1981年卒業)
- ・ 高専では、殺人事件が起きた。反省が必要(1981年卒業)
- ・ コミュニケーション能力の向上(1981年卒業)
- ・ 自らが率先して問題解決していく行動力が付くようにする(1983年卒業)
- ・ 今は実施されていると思うが、留学生などとの交流により幅広い人間になるように(1985年卒業)
- ・ 管理能力、指導力のある人間を育成することに重点を置くと良いと思います(職場の中で存在感が増します)(1986年卒業)
- ・ 即戦力にこだわりすぎて、人間性を軽視しないようにしてほしい(1987年卒業)
- ・ 技術者を育てることも大切だが、一人の人間を育てることも忘れずに。(1988年卒業)
- ・ 常識ある人間造り。(1988年卒業)
- ・ ビジョンを持つ(1988年卒業)
- ・ 色々なことに関心を持つ(1990年卒業)
- ・ 職場体験の機会を持てると思う。公務員、企業では、仕事内容が全く違うので、夏休みなどを利用して(1999年卒業)
- ・ コミュニケーション能力が必要だと思うなら学業だけでなく、学校行事も大切にする(2000年卒業)
- ・ 多くの情報を扱える力をつけさせるのは重要だと思いますが、今思えば無駄な時間に読んだ本や考えたことのほうが生きている気がします(2003年卒業)
- ・ コミュニケーション能力、プレゼン力強化(2003年卒業)
- ・ 企業に入って役立つ人材育成(2004年卒業)
- ・ 倫理教育の徹底(2007年卒業)

教育システム(全体的なこと)

[専攻科] (2件)

- ・ 目標は立派だが、内容が伴っているかという疑問が残る(2005年修了)
- ・ 座講2時間は集中力がもたないこともある。効率的に学習できるとは言い難い(2007年修了)

[本科] (41件)

- ・ 「高専」という意識を常に持ち続けていく事が、他の教育システムを選んだ方との差別かとなる為、誇りを持って欲しいと思います。教員の方々には大変お世話になりましたので、この場でお礼申し上げます(1980年卒業)
- ・ 当該学科に適性がない(と思われる)状態で入学してしまった学生に対する手当て。1)「適性がない」と思っても実際必ずしもそうでもないということの認識。2)各学科に興味をもたせるための(迎合にならない方向で)工夫。高専卒業生の実践力ばかりを強調するあまり、産業界に対して無批判にならぬ様な指導(1980年卒業)
- ・ できて4年目の入学生で、当時何だか今とは違うのでしょうか。特に望むことは教員の教育能力(知識ではなく教える技術)を向上させて頂ければ、学生は社会と早く向き合うような活動を(市民運動のような)すると、有意義かと(1981年卒業)
- ・ 一貫教育というのはどのようなメリットがあるのか、活かしているのが不明です(1982年卒業)
- ・ 自前で学士を取得出来ること(現システムは異常である)(1982年卒業)
- ・ 目標は道のりであり、システムはあくまでその道を歩くための方策でしかない(1982年卒業)
- ・ 高専の必要性について掘り下げていただきたい(1983年卒業)
- ・ 世界に通用する人材を15歳からの5年で育てるには無理があると思います。もっと時間をかけるか、基礎

- に特化するかのどちらかにするべきではないでしょうか(1983年卒業)
- ・合理的で解りやすい(1984年卒業)
- ・興味のあることに没頭できるように(1985年卒業)
- ・「世界に通用する…」とまで、大きな目標を掲げる必要があるのか疑問。それよりもっと、足元が重要(1986年卒業)
- ・5年間の一環教育の良さを出して下さい(1986年卒業)
- ・学校の目標とは別に自分なりの目標設定が必要(1988年卒業)
- ・教育者側の目標ではなく生徒に目標を意識させる(1988年卒業)
- ・興味を持ったことは、高い目標を持たせてやらせることがいいと思います(1988年卒業)
- ・個別補習のできる「余裕」があったほうが良い(1989年卒業)
- ・個人で取捨選択させるものを増やし、目標に到達するまで卒業させない(1990年卒業)
- ・システムはほぼ確立しているので、そのメリットを学生が意識できるように教育が必要(1992年卒業)
- ・「技術を愛する技術者になろう」という言葉は、よい目標になる(1993年卒業)
- ・社会ではどのように役に立つかをイメージしながら勉強できるようにしよう(1994年卒業)
- ・大学院まで行けそうな学生は行かせてあげたほうが良い(1994年卒業)
- ・高専でしかできないものを(1996年卒業)
- ・JABEEの認定が本当に必要なのでしょうか(1997年卒業)
- ・学生自ら興味を持てる授業作り(テレビ番組のたけしのコマネチ大学数学科のような興味がわく授業)(1997年卒業)
- ・世界に通用できる教育が必要と思う(1997年卒業)
- ・5年間の教育という強みをもっと生かすべき。他校と技術交流(1998年卒業)
- ・5年間と長いので1年毎に目標を決めて5年後どうありたいかおもしろいことが大切と思う(2000年卒業)
- ・教育目標は素晴らしいと思います(2000年卒業)
- ・暗記でこなせるものでなく、理解させるシステムを(2001年卒業)
- ・自分を見つける 得意なモノ/他人に負けないものを身に付ける(2002年卒業)
- ・5年で就職、進学とさまざまであるが、方向性を明確にしたほうが良い(2003年卒業)
- ・自分の打ち込めるものを見つけられる(2004年卒業)
- ・“世界に通用する”という目標に対する取組みを実施すべき(留学 etc)(2005年卒業)
- ・1つ1つの科目として着限するより、システム全体として意識してほしい(2006年卒業)
- ・JABEEに頼らなくても良い個性のある学校になってほしい(2006年卒業)
- ・考える方法を教える。勉強の仕方を教える(2006年卒業)
- ・世界に通用する技術者が誕生しているか疑問(2006年卒業)
- ・より国際的に通用するものに(2006年卒業)
- ・3学年からの学科別クラスはとても良かった。しかし、クラス内では仲が深まっていくが、他クラスとの接触が少なかったのでサミシイと思う(2007年卒業)
- ・授業時間の見直し(2007年卒業)
- ・時々、無理だなと思ったことあり(2007年卒業)

よい

[専攻科](3件)

- ・今までの方向をさらに発展させてほしいです(2005年修了)
- ・高い目標だと思いますが、実現できればと思います(2006年修了)
- ・若づくりがどうこう言えることではありません。これからも母校の発展を祈っています(2006年修了)

[本科](9件)

- ・今のままで(1995年卒業)
- ・高専は素晴らしい教育機関だと思います(1999年卒業)
- ・よい(1999年卒業)

- ・現状でいいと思う(2004年卒業)
- ・このままでいい(2005年卒業)
- ・今のままでいいと思います(2006年卒業)
- ・今のままでいいと思う(2006年卒業)
- ・今のままで良いのではと思う(2006年卒業)
- ・よし(2007年卒業)

問 5-8c カリキュラム

専門

【専攻科】(6件)

- ・実験を多くしてほしい(1998年修了)
- ・塑性材料(プラスチック)や成形に関するカリキュラムがあれば良い(1999年修了)
- ・何の為に(何に役立つか)を明確にして学ぶ(2000年修了)
- ・専門知識の応用をふやす(2003年修了)
- ・1つのプロジェクトを起こすようなものを作るようなものが欲しい(2004年修了)
- ・専攻科教育についてももの足りなさをかんじるので、もっと知識の深化する内容を目指して欲しい(2006年修了)

【本科】(44件)

- ・基礎に重点を。社会に出て直接役立つ専門知識は少ない(1979年卒業)
- ・環境系のカリキュラムを増す。時代の要求に応える(逆も真なりかも)(1980年卒業)
- ・基本的な技術、問題解決手法をしっかり身に付けられるようにしてほしいです(1980年卒業)
- ・専門教科をもっと増やしてもよいのでは(1980年卒業)
- ・専門性と教養性のバランスを大切に(1980年卒業)
- ・卒論の研究テーマを企業の研究テーマとリンクして企業との関係を深めてほしい(1980年卒業)
- ・自ら課題を見つけ、それに取り組む実践的な教育カリキュラムの増加(1980年卒業)
- ・もっと詰め込む(1980年卒業)
- ・理論と実践をバランスよく、たっぷり(1980年卒業)
- ・基本を身につけることと、自ら考え、学ぶ姿勢を身につけるようにすべき(1981年卒業)
- ・実技と机上との連携をいかにとるか(1981年卒業)
- ・基礎学力の充実(1986年卒業)
- ・学に新しい技術に目を向けて欲しい(1983年卒業)
- ・基礎知識の充実(1985年卒業)
- ・実践で役に立つカリキュラムを積極的にやって欲しい(1987年卒業)
- ・会社に勤めて、大卒と比べて劣っているとは思わなかった(1988年卒業)
- ・手を使ったこと(実習)は、いつまでも忘れない。多くの時間を割いたらいい(1988年卒業)
- ・論文や発表といった基礎的な能力をしっかり磨く(1988年卒業)
- ・複合学科でよい面もあるが他校に比べて専門知識が少なくなるところもあると思うのでその点を補えるようにしてほしい(1991年卒業)
- ・企画実践とプレゼンテーションの強化(1992年卒業)
- ・実習の強化(1992年卒業)
- ・基礎を理解できる人材(1994年卒業)
- ・将来それを何に使うのかを説明してあげた上で教えたほうが良い(1994年卒業)
- ・CADを使えることが現場では即戦力になるので、もっと取り入れたほうがよい(1997年卒業)
- ・建築設計(製図)の科目を充実させるべき(1997年卒業)

- ・ 実践的なものをもっと増やしたほうが良いと思う(1998年卒業)
- ・ 大学にまけない専門分野であってほしい(1998年卒業)
- ・ 技術者に必要な品質管理や問題解決手法を教えて欲しい(2000年卒業)
- ・ 座学より実践！(2000年卒業)
- ・ 実務に必要な勉強を基礎に。プレゼン能力等を磨くカリキュラムも必要(2000年卒業)
- ・ 中途半端な電気授業は何も役に立たないので選択教科にまわしたほうが良い(2001年卒業)
- ・ 理解させるシステムとして有効な系統だったカリキュラムを(2001年卒業)
- ・ 今の技術、装置の現状も分かるように(2002年卒業)
- ・ MEは電気系の科目・実験を増やすべき(2005年卒業)
- ・ もっと専門科目の授業を増やして、一般教養を減らしても良い(2005年卒業)
- ・ 理論を実践に結びつけるような授業をしてほしい(2005年卒業)
- ・ 建築にもっと力を入れてほしい(2006年卒業)
- ・ 電気の実験を増やすべき(機械電気工学科)(2006年卒業)
- ・ 結局専門の大学をでた人にはかなわない(2006年卒業)
- ・ 少しもの足りなかった もっと専門をやりたかった(2007年卒業)
- ・ 選択科目がもう少しあっても良いように思う(2007年卒業)
- ・ 選択科目の充実(2007年卒業)
- ・ その時代に合うカリキュラムを積極的に取り入れる(2007年卒業)
- ・ 問題ないが、何か一つでも専門性を追求しても良いのではないか(幅広い学習だけでなく)(2007年卒業)

情報処理

[本科](7件)

- ・ 情報処理能力の向上(1979年卒業)
- ・ ソフトとハードの選択科目の充実で、より専門教育を学べるように(1981年卒業)
- ・ プロジェクトやシステムをまとめる力、単にプログラム作成能力ではなく、システム作成能力を養うことがこれから必要(1983年卒業)
- ・ パソコンの教養(1984年卒業)
- ・ PCは必修。1～2年で学ぶ環境を(1998年卒業)
- ・ 情報処理の仕組みをまんべんなく学べるのは素晴らしい(1998年卒業)
- ・ Excel等の実用的なソフトに関する授業があると、社会人になったとき、助かる(2007年卒業)

プロジェクトマネジメント

[本科](3件)

- ・ プロジェクトマネジメント能力必須(1982年卒業)
- ・ プロジェクトマネジメントもやったほうが良いと思う(1983年卒業)
- ・ 最新の技術も必要であるが、応用力を養う教育が良い。プロジェクトマネジメントなど重要(1985年卒業)

資格

[本科](3件)

- ・ CCNAなどベンダー系の資格取得を目指した講座は社会に出て有効(在学中には制度なし)(1979年卒業)
- ・ 専門資格教育の強化(1980年卒業)
- ・ 国家資格対策(1992年卒業)

■ 社会・実践教育

[本科] (16件)

- ・ 高専生と大学卒の違いは、特に個性の強さだと感じている。大卒の方はいろいろな壁を乗り越え、いろいろな方々と接するチャンスが多いため、柔軟な考え方が多い(院卒はダメ)。個性は大事であるが、障害にもなることを考え、学生のうちに多くの方々と接する機会を増やしてほしい(1981年卒業)
- ・ 夏休み等の長期休暇を社会勉強等にもっと利用できないか？(1981年卒業)
- ・ コミュニケーション、表現力、自立、自主性を伸ばす(1982年卒業)
- ・ 海外での生活体験制度があるといい(1986年卒業)
- ・ 学力(勉強)以外の、人間形成に必要な教材なり体制、環境を望む。(今の若い人たちには特に...) (1988年卒業)
- ・ 国際的なバランス感覚を身につけられるカリキュラムを組む(1988年卒業)
- ・ 業界の第一線で活躍中の方の講演会(1989年卒業)
- ・ 夏休み等で、企業実習を体験したほうがよいと思う(1990年卒業)
- ・ 工業高専である以上実際の現場体験を大事にすべき(1992年卒業)
- ・ 特に問題ないと思います。ただ、CAに限れば、現場をもっと見せるとよい(1992年卒業)
- ・ 未来観をもった目的意識をもっと教育。OBの話聞ける環境を作ること(1998年卒業)
- ・ 各課目は全てムダはない。社会で具体的にどう必要かを実感できる様なアドバイスがあれば1年の時からもっと身につく勉強になると思う(1999年卒業)
- ・ 企業人講師を積極的に取り入れ、早くから何のための技術学習なのかということ意識づけることが必要(1999年卒業)
- ・ 職場体験の機会を持てると思う。公務員、企業では、仕事内容が全く違うので、夏休みなどを利用して(1999年卒業)
- ・ 施工中の工事現場に見学に行く等 現場の実体に触れる機会を作ってあげて欲しい(1999年卒業)
- ・ 外部技術者を招いて、講演してもらおう機会が1年のころにあると良い(2007年卒業)

英語

[本科] (28件)

- ・ 英語は必須(1979年卒業)
- ・ 工業英語が不足していたと思います。現在は？ですが(1981年卒業)
- ・ 英語、中国語を学んでいくこと(1982年卒業)
- ・ 英語教育は会話重視(文法などは不要)、実習時間をもっと多く(1983年卒業)
- ・ 特に英語は強化する必要あるが、授業の中だけでは無理があるかも。英語の学び方を教える方が効果的かもしれない(1984年卒業)
- ・ 英語(会話能力アップ)(1985年卒業)
- ・ 英語教育(特に実践英語)(1985年卒業)
- ・ 英語教育にもっと力を入れて、3DCADスキルも(1986年卒業)
- ・ 英語力は大卒に比べ不足。また、倫理教育(技術者としても必要ではないか(1988年卒業)
- ・ 外国語教育の充実(1988年卒業)
- ・ 多言語にふれる機会を増やしてみたらどうでしょうか。学生が自発的に英語を勉強するようになると思いますが(1988年卒業)
- ・ 英語が重要(1989年卒業)
- ・ 英語の取得(1989年卒業)
- ・ 英語教育をより強化できると良いと思います(1990年卒業)
- ・ 英語と数学は本当に重要なんで力を入れて欲しい(1990年卒業)
- ・ 英語のコミュニケーション力を重視したカリキュラムの充実(1991年卒業)
- ・ 英語教育の充実(1996年卒業)
- ・ 専門も英語教育が必要(1997年卒業)
- ・ 英Wはまったく興味なし。製図もCADを使っただけの作成があったほうがよかった(1998年卒業)

- ・ もっと実践的な英語を教えないと役に立ちません(1999年卒業)
- ・ 英語でプレゼンする授業があっても良いと思います(2002年卒業)
- ・ 3年から4年に上がる時英語のテストを実施すべき(2003年卒業)
- ・ 英語教育, 専門科目のウエイトをもう少し上げてほしい(2003年卒業)
- ・ 英語教育の充実(2003年卒業)
- ・ 英語教育の充実。資格の取得促進(2004年卒業)
- ・ 英語教育を充実させること。最終学年に研究に集中できるカリキュラムにして欲しい(2005年卒業)
- ・ 英語・数学の授業をもう少し増やした方がいいと思う(2006年卒業)
- ・ 英語や数学の基礎はもっと必要な気がした(2006年卒業)

■ 教養

【専攻科】(1件)

- ・ 経済学の基礎的な授業(2000年修了)

【本科】(21件)

- ・ 社会教育の充実。社会の一員としての考え方(1981年卒業)
- ・ 宗教教育も必要(1981年卒業)
- ・ マーケティングの勉強をしてもらったらよいと思います(1982年卒業)
- ・ 経営・管理に関するカリキュラム不足である(1984年卒業)
- ・ 経営管理の基礎教育(1985年卒業)
- ・ 少し教養面でカリキュラムが乏しいと思います(1987年卒業)
- ・ 一般科目と専門科目がうまく連動したものにしてほしい(1990年卒業)
- ・ 教養科目についてももう少し力をいれてほしい(1990年卒業)
- ・ 大学卒と同等に近い一般教養を育むカリキュラムが必要だと思う(1990年卒業)
- ・ 量子力学の授業の充実(1991年卒業)
- ・ 一般教養にもっと力を入れた方が良い。「文系センス」が実は必要(1992年卒業)
- ・ ドイツ語以外の語学も組み入れればいかがでしょうか(中国語など)(1993年卒業)
- ・ 英語, 中国語は大事(1995年卒業)
- ・ 英語・情報処理重視で(1995年卒業)
- ・ 数学などで学ぶ事が実務でどのように利用されていくのかを教えていくべきである(1996年卒業)
- ・ 倫理 一般常識に関する教育を増やして欲しい(1997年卒業)
- ・ 一般教養を増やしてほしい(2000年卒業)
- ・ 在学中はドイツ語だったが中国語を取り入れた方がいい(2003年卒業)
- ・ 専門については文句はありません。教養にもっと力を。弱すぎると思う(2004年卒業)
- ・ 教養科目(特に国語)の内容を普通高に合わせて欲しい(2005年卒業)
- ・ 上に関連して, 一般教養のレベルが低すぎる。歴史, 国語の一般教養のない技術者が世界に通用するのか?(2006年卒業)

その他

【専攻科】(4件)

- ・ 月～金につめこみすぎ(1997年修了)
- ・ 目標を達するにはあまりにおそまつかも...(2005年修了)
- ・ だんだん厳しくなってくるように思いますが, 知識のつめこみにとどまらない方がいいと思います(2006年修了)
- ・ 専攻科2年前期の授業数を減らして欲しい(2007年修了)

【本科】(38件)

- ・「高専」という意識を常に持ち続けていく事が、他の教育システムを選んだ方との差別かとなる為、誇りを持って欲しいと思います。教員の方々には大変お世話になりましたので、この場でお礼申し上げます(1980年卒業)
- ・教育速度が早すぎる。微分、積分と習ったが、なにに使うか分からない(1982年卒業)
- ・自由に選択し、ダメなら落としてもよい(1982年卒業)
- ・選択の幅をもたせる(1982年卒業)
- ・つめ込み感があったが、基があることで広がっていく(1982年卒業)
- ・3年までと4年以降のカリキュラムの差が大きいです(1983年卒業)
- ・将来性のある学科と基本的学科(1983年卒業)
- ・あまり詰め込まない(1984年卒業)
- ・学生個々の能力を見極めることと、生かせる職種へのアプローチサポート(1984年卒業)
- ・興味のあることに没頭できるように(1985年卒業)
- ・5年間の一環教育の良さを出して下さい(1986年卒業)
- ・複合学科であるが故に、早い時期に自分の道を見つけると、辛いのかもかもしれません(1987年卒業)
- ・多少の詰め込みはやむなし(1989年卒業)
- ・個人で取捨選択させるものを増やし、目標に到達するまで卒業させない(1990年卒業)
- ・何かの役に立っていることが実感できるように(1992年卒業)
- ・受験等なく勉強に専念できるため、その時代に合った技術者を輩出されまよう期待します(1993年卒業)
- ・不必要な選択科目は廃止しましょう(1994年卒業)
- ・「詰め込み」にならないようにしてください。応用力が身につくような内容に(1996年卒業)
- ・試験回数を年6回にし、無理のない範囲で復習に重点を置く(1996年卒業)
- ・大学にない専門教育を充実させていくべき(1996年卒業)
- ・土木学科と建築学科に分けた方がよい(定員増)(1997年卒業)
- ・8時限は長かった(1998年卒業)
- ・5年間で考えると良いと思う(2000年卒業)
- ・コロコロ変えすぎ(2000年卒業)
- ・1日の授業時間が少し長すぎると思う(2001年卒業)
- ・もう少し早く土木もしくは建築という専門を決めた方がよい(複合も良いと思うが中途半端になる可能性があると思う)(2002年卒業)
- ・余裕を持って(2002年卒業)
- ・教育目標の充実(2004年卒業)
- ・余裕を持ったカリキュラム。カリキュラムが多く、また、複雑すぎる(2005年卒業)
- ・4年次がハードすぎる。もう少し分散してほしい(2006年卒業)
- ・複合教育は中途半端で5年では無理に思えた。予・復習に時間をおくよりも、集中型のほうがよかったかもしれない(2006年卒業)
- ・2006年度のような夏休み明けテストはやめてあげてください(2007年卒業)
- ・多すぎ(2007年卒業)
- ・柔軟に(2007年卒業)
- ・時々、無理だなと思ったことあり(2007年卒業)
- ・広く浅い勉強になりすぎている(2007年卒業)
- ・部活のできる時間割に(2007年卒業)
- ・まだ高専大会前に短縮授業とか馬鹿なことやってんの?(2007年卒業)

■ よい

【専攻科】(2件)

- ・特になし(教官ごとに個性あふれるスタイルが楽しかったです)(2005年修了)
- ・今までの方向をさらに発展させてほしいです(2005年修了)

【本科】(8件)

- ・ 従来通りでよいと思います(1987年卒業)
- ・ 現在のカリキュラムで問題ないと思う(1993年卒業)
- ・ これまでのカリキュラムで問題ないと思う(1997年卒業)
- ・ よい(1999年卒業)
- ・ よい(進学を重視するならば、7年間の一貫教育にするべきでは)(2003年卒業)
- ・ 今のままでいいと思う(2006年卒業)
- ・ 特に今のままで問題ないと思う(2006年卒業)
- ・ よし(2007年卒業)

問 5-8d 体制, 環境

大学等との連携, 交流

【専攻科】(2件)

- ・ 他の高専と交流できるように(1998年修了)
- ・ 位置的にも, 校風的にも閉鎖的なので, 大学等との交流が欲しい(2006年修了)

【本科】(19件)

- ・ 大学との連携(1979年卒業)
- ・ 教育不足, 産学共同研究(1980年卒業)
- ・ 社会とのかかわりを(1980年卒業)
- ・ 人的交流, 物理的な環境においてオープンで先進的であるべきだと思う(1980年卒業)
- ・ 徳山大学との連携とか, 他の教育機関とのつながりをもっともってみたい(1981年卒業)
- ・ 外部講師も積極的に招いて, 将来の職業に対する具体的なイメージを持たせてはどうか(1984年卒業)
- ・ 社会人参加の教育(1984年卒業)
- ・ 実状は良くわかりませんが, 地域に目を向けた取り組みをして欲しい(1988年卒業)
- ・ 地域, 他校など, いろいろな人々と交流を多くもたせるとよい(1988年卒業)
- ・ 5年も同じ場所で学ぶので, メリハリがつくように刺激を与える必要があるのでは(企業実習等)(1990年卒業)
- ・ 社会勉強も含めて, 様々なことが吸収できる環境を作るべき(視野を広く持てるように)(1990年卒業)
- ・ もっと他の学校との交流を(1990年卒業)
- ・ 学外研究者, 学生との積極的な交流(1991年卒業)
- ・ 開かれた環境(情報公開)(1997年卒業)
- ・ 2回以上企業体験ができる機会を設ける(2001年卒業)
- ・ もっと現場に出てフィールドワークをすべき(2001年卒業)
- ・ 他高専, 大学との交流を持ち, 徳山高専内だけにとらわれない見方を持てるようにした方がいいと思う(2002年卒業)
- ・ もっとオープンになったほうがいい(2007年卒業)
- ・ インターンシップをもっと増やせば「仕事」への理解が早くなるのではないのでしょうか(2007年卒業)

■ 海外留学等

【本科】(8件)

- ・ 英語能力が必須になっている。全員留学経験をさす(1981年卒業)
- ・ 海外経験が出来るチャンスがあればいい(1982年卒業)

- ・ グローバルな力を養うため、留学等をどんどんやるべき(1983年卒業)
- ・ 大学への短期留学等の制度が必要ではないでしょうか(1983年卒業)
- ・ インターンシップなどの国際交流(1989年卒業)
- ・ 英語(1992年卒業)
- ・ 海外研修制度などあれば良いかも(2002年卒業)
- ・ 世界の学生と交流する機会が多く持てると世界観が広がりよいかも(2007年卒業)

■ 人間性教育

[本科](20件)

- ・ 教育レベルは充分～精神面の充実(道徳心・公共心・社会性・礼儀)(1981年卒業)
- ・ 寮生活に於いての縦関係は、社会に出ても役立つ(1982年卒業)
- ・ 仕事を進める上で高専生はまじめすぎると思う時があります(1987年卒業)
- ・ もっと学生を増やし、人間力をみがける環境にして欲しい(1987年卒業)
- ・ 各自の個性を伸ばすことに力を入れてほしい(1988年卒業)
- ・ 学力(勉強)以外の、人間形成に必要な教材なり体制、環境を望む。(今の若い人たちには特に...)(1988年卒業)
- ・ 中学卒からの精神面での教育が必要。ハードよりソフト面(1989年卒業)
- ・ 学生寮での経験は非常に貴重・重要(1990年卒業)
- ・ 友達通しのつながり(1992年卒業)
- ・ 高専は、大学卒と比べて、協調・独特の個性がある人が多いと思う。又それが武器(1994年卒業)
- ・ メリハリのある時間管理のできる人材が育つ環境を整えてほしい(1994年卒業)
- ・ 学生同士の連絡体制の強化(1996年卒業)
- ・ 各学年の垣根がないと思われるので、維持してほしい(1998年卒業)
- ・ 時間にゆとりを持てる点。自由な環境は、学生にとってプラス。少しゆるすぎる気もする(2004年卒業)
- ・ 犯罪を発生させない(2004年卒業)
- ・ 自由をはき違えた学生が増えてほしくない(2006年卒業)
- ・ 1～3年生の指導をもっと厳しくする(生活面において)(2007年卒業)
- ・ 遅刻に対しては厳しくしてほしい(2007年卒業)
- ・ 教員には JABEE の資料作成などムダなことをさせず、学生とコミュニケーションを多くとれる環境が必要(2006年8月の事件を繰り返さないためにも)(2007年卒業)
- ・ 高校・専門学校の境目が曖昧で、4,5年になっても校則のようなものに縛られていて窮屈だった(2007年卒業)

教育環境・その他

[専攻科](7件)

- ・ 教員のやる気のなさを感じる(1997年修了)
- ・ 実験、研究施設の充実(2002年修了)
- ・ 実験も大変役に立ったが、近場に現場があれば見学に行ってみては？(2003年修了)
- ・ 教官部屋に入りやすいような環境を作って欲しい(2004年修了)
- ・ 7年生のためか、自分に甘くなりがち。目標意識を持たなくては専攻科の意味はないと思う(2005年修了)
- ・ 基本の理解ができていないか、常に確認してください(2006年修了)
- ・ 卒研・特研それぞれ週次で学生の研究進歩を把握するための話し合いを設けてはどうか(今週の実績、来週の予定報告)(2007年修了)

[本科](54件)

- ・ MBO 的なカリキュラム体制がなく単なる技術者としての教育のみである(1979年卒業)
- ・ 「高専」という意識を常に持ち続けていく事が、他の教育システムを選んだ方との差別かとなる為、誇りを持

って欲しいと思います。教員の方々には大変お世話になりましたので、この場でお礼申し上げます(1980年卒業)

- ・ 3 学科の交流も必要。営業的な展開もある(1980年卒業)
- ・ 学力習得度の正確な把握が必要(1980年卒業)
- ・ 今ある環境は以前に作られたもの。すべて白紙から考える(1982年卒業)
- ・ 技術力の向上を目指す(1982年卒業)
- ・ 最新技術に触れられる様な体制にして欲しい(1983年卒業)
- ・ 卒業後のサポート(1983年卒業)
- ・ できるだけ最新機材を使用した教育(1983年卒業)
- ・ 大学生と変わらない(おとらない)人材の育成, 清潔で美しい(1984年卒業)
- ・ 自由な環境(1985年卒業)
- ・ 大卒と比較してどうなのか他の様子を知らな過ぎか(1985年卒業)
- ・ 勉強する環境はすごく整っているので, 宝の持ちぐされにならないよう活用して下さい(1986年卒業)
- ・ 対外的にアピール(良い部分)したほうが良い(1988年卒業)
- ・ 徳山高専として他校に比べ何が差別化できるかを考えて実施してほしい(1988年卒業)
- ・ ISOは「数値化・達成度」を求めるものなので, 「資格」やコンテストに「参加」は良いが, 結果を求めすぎると, 個性や可能性の芽を摘んでしまうと思う(1989年卒業)
- ・ 最初の2年間, 学科をこえてクラス編成をするのは好ましくない。せっかくの実力が“低い方”へ流れてしまう危険性が高い(1992年卒業)
- ・ 何かの約に立っていることが実感できるように(1992年卒業)
- ・ 専攻科の人数を増やしてはいかがでしょうか(1993年卒業)
- ・ 就職先(卒業生の)とのコネクションは切らさない(1994年卒業)
- ・ すぐ近くにライバル校が無いことが問題(競争意識, 危機感の無さ)(1994年卒業)
- ・ 普通校と違う高専独自の勉強体制・環境が, 就職してからの同僚との差につながる(1995年卒業)
- ・ 工作実習など実務に直結する単位の増強を(1996年卒業)
- ・ 実物に触れ合う機会を(1996年卒業)
- ・ 専攻科ありきの体制を取り, もっと大学に近い環境を整えてもよいと思う(1996年卒業)
- ・ 出来る限り最新のシステムを導入すること。大学並みの研究設備の整備(1996年卒業)
- ・ 5年生は車通学を許可してほしい(1997年卒業)
- ・ 外部資金の受け入れ体制を! 教員にも研究させる時間を!(1997年卒業)
- ・ 学生が望んでいる環境・体制作りをしてあげてほしい(1997年卒業)
- ・ 教員数が少ないと思う(1997年卒業)
- ・ 高専では実験などで体験したことが就職してから役立ったので, もっと体験学習を増やしてはどうだろうか(1997年卒業)
- ・ 教員に教育が何かを教えるべき(1998年卒業)
- ・ 大学にまけないでほしい(1998年卒業)
- ・ 自由に伸び伸びと創造的な人材を(1999年卒業)
- ・ 専門科目をただ教科書どおりに教えては, 身につけません。具体的にどのような業種で利用できるかを理解させるべきです(1999年卒業)
- ・ 中学生で進路を決めるのは難しい。入学後, 進路変更を希望する学生の力になれる体制も必要(2000年卒業)
- ・ 何にでも挑戦できる環境を!(バイト, 部活, etc)(2000年卒業)
- ・ 1, 2年の混合学級は良いが, その後の他学科との交流が少ない(2001年卒業)
- ・ 広く浅くではなく1本にしばった方が良い。分野を増やす(2002年卒業)
- ・ 教員の充実, 若い先生の採用(2003年卒業)
- ・ 実物(商品)を使った教育(2004年卒業)
- ・ 進路指導の充実。進路関係のデータのアクセスを改善してほしい(2004年卒業)
- ・ 設備の充実(2005年卒業)
- ・ 専門知識や技術の教育と同時に, 社会の状況やこれから必要とされる能力を学ぶ機会を増やした方がよ

い(2005年卒業)

- ・ 図書館や情報電子室(PCルーム)などの設備の充実さ(2005年卒業)
- ・ 山の上にあるので通学がしんどい(2006年卒業)
- ・ 先生が忙しすぎる(質問する時間がとれない)(2006年卒業)
- ・ 先輩が後輩に教える機会があると良い(特に卒研)(2006年卒業)
- ・ プレゼンテーション能力の向上が必要(2006年卒業)
- ・ もう少し教員を増やした方がよいと思う(2006年卒業)
- ・ 計算機室の利便性を上げる(2007年卒業)
- ・ 質問しやすい雰囲気(2007年卒業)
- ・ 教室の冷暖房の設定温度幅が狭い(2007年卒業)
- ・ 校舎の建て替えて、より良い環境になると思う(2007年卒業)

よい

[専攻科](6件)

- ・ 教職員の方々が卒業後も親身に相談に乗ってくれる(2000年修了)
- ・ 私が在学していた頃より良くなっているのでは?特にありません(2001年修了)
- ・ 設備は立派だとは思いますが、学校の規模からすると妥協,,, (2005年修了)
- ・ 特になし(充分な体制・環境だと思います)(2005年修了)
- ・ 今までの方向をさらに発展させてほしいです(2005年修了)
- ・ エンジニアを目指す学生にとっては充分、魅力的だと思います(2006年修了)

[本科](31件)

- ・ 特許を多く取得しており、よいと思う(1980年卒業)
- ・ CO2問題にいかに取り組むか(1981年卒業)
- ・ 学生が何でも受け止められる体制、環境を(1981年卒業)
- ・ 校長をはじめとして学内の清掃活動(1981年卒業)
- ・ 特になし。私の時代は満足でした(1981年卒業)
- ・ 高城の丘で最高(1982年卒業)
- ・ 在学中においては、特に不満などありませんでしたが、体制は厚い方がよい(1985年卒業)
- ・ 問題なし(1986年卒業)
- ・ 恵まれている(1988年卒業)
- ・ のびのびと出来ていいと思うので、続けて欲しい(1989年卒業)
- ・ 良いと思います(1990年卒業)
- ・ 自分が在学中より、かなり良くなったと聞いている(1991年卒業)
- ・ 良い環境だったと思います(1991年卒業)
- ・ 特に問題ないと思います(1992年卒業)
- ・ 高専の体制は、創造力を育む土壌になっていると思う(1993年卒業)
- ・ しっかり学べる良い環境だと思いますので、設備等の技術に合わせたものの充実を期待します(1993年卒業)
- ・ 今のままで(1995年卒業)
- ・ 良いと思います。今はもっと進んでいるのでしょうか(1996年卒業)
- ・ 良いと思う(1998年卒業)
- ・ 充実してきていて、非常に良いと思う(1999年卒業)
- ・ よい(1999年卒業)
- ・ 環境はよかったと思う(2000年卒業)
- ・ よい(2003年卒業)
- ・ このままでよい(2005年卒業)
- ・ 今のままでいいと思う(2006年卒業)

- ・ 望めば上はいくらでも…。不満はなし(2006年卒業)
- ・ よい(2006年卒業)
- ・ 教育環境はとても充実していると思う(2006年卒業)
- ・ このままで良い(2007年卒業)
- ・ よし(2007年卒業)
- ・ 教員との壁みたいなものがない感じで、わからないことをすぐ聞きにいったりできる環境はいいと思う(2007年卒業)

問 5-8e 教員に望むこと

■ 授業

【専攻科】(5件)

- ・ 教えるより考えさせる教育(2003年修了)
- ・ しっかりとした専門知識の習得(2004年修了)
- ・ 専門分野のみでなく他分野についても教えられる教員が理想(2005年修了)
- ・ テスト結果など、単位についてもっとシビアでも良いと思う(2006年修了)
- ・ 理論ではなく実機を使った教育を(2007年修了)

【本科】(53件)

- ・ 学生の身になって教えて欲しい(1980年卒業)
- ・ 技術者としてのプライドを植え付けるため、実践的な教育を取り入れてほしい(1980年卒業)
- ・ 英語力を強化することは、最も力を入れるべきで需要が望まれる(1980年卒業)
- ・ 理論的な教育(1980年卒業)
- ・ 5年間という長い学生教育を行うので、中だるみさせず目標を欠かさせず、技術者としての基礎をしっかり身に付けさせてください(1981年卒業)
- ・ 工学的見方から離れた物の見方をしてもよいのではないのでしょうか(1982年卒業)
- ・ 日本のものづくりに誇りを持てるような人材を育成して下さい(1983年卒業)
- ・ 実践例と興味を持たせる試行(1984年卒業)
- ・ 卒業後の学ぶ事の重要性を教えて(1985年卒業)
- ・ 「なぜ」を追求するような人材を育成して欲しい(1987年卒業)
- ・ ゆっくり理解しなければならぬ基礎をしっかり教えてあげてください(1988年卒業)
- ・ 機械製図力 up(1990年卒業)
- ・ 成績を重視する点を改善すべき(自らが考え、自立するように育成して欲しい)(1990年卒業)
- ・ 大学卒とも競い合える力を与えてほしい(1990年卒業)
- ・ 教科書だけでなく実体験基に授業をしてみても(1992年卒業)
- ・ 何かの役に立っていることが実感できるように(1992年卒業)
- ・ 英語、国家資格対策(1992年卒業)
- ・ 学生がくいついてくる授業を行うことを常に追求してほしい(1993年卒業)
- ・ 学生自身が考えをまとめ、導き出せるよう、手助けしてもらいたい(1993年卒業)
- ・ 興味のもてる授業を(1994年卒業)
- ・ 試験問題の解読でなく、実践でこの場合は、この技術を利用するという、より実務で想定できる内容を学生に理解・想像させ教育して欲しい。他校高専ともつながりを多く持って欲しい高専卒の協調・協力が仕事で大変役に立つ(1994年卒業)
- ・ あまり複雑でなくていいので、社会に出て生かせる専門知識を教育して欲しい(1996年卒業)
- ・ 卒業研究は複数人数体制で指導できる環境を(1996年卒業)
- ・ もっとわかりやすく眠くならない授業にして下さい(1996年卒業)

- ・ 学生に対してその部屋の教官は学生の研究にある程度責任を持ってほしい(1997年卒業)
- ・ 卒業研究の生徒に対してのアドバイスが欲しい(1997年卒業)
- ・ 英語を実践力のある教育を進めるべき(1997年卒業)
- ・ 学生が興味を持つような教え方をしてほしい(1998年卒業)
- ・ 学生を授業中に寝かせない(1998年卒業)
- ・ この授業がなぜ必要かをまず伝えてほしい(1998年卒業)
- ・ 才能のある学生が集まるのだから、それを伸ばして教育すべき。技術のすばらしさを教えるべき(1998年卒業)
- ・ 過去のテスト問題は回収して後輩に渡らないようにしてほしい(1999年卒業)
- ・ 卒業研究するにあたって問題の解決手法の「DMAIC」などを教えた方が良いと思う(1999年卒業)
- ・ その課目が好きで教える事が楽しそうな、うれしそうな先生の授業は、記憶に残ってマス(1999年卒業)
- ・ 実践的な教育を！(2000年卒業)
- ・ 今やっている学習が工業のどの部分を支えているのかをしっかりと示して、動機付けをしっかりとさせるべきか？(2001年卒業)
- ・ 教科書に沿って授業を進めるだけでなく、もっと実践的な内容も(2001年卒業)
- ・ 研究以上に授業(講義)に力を入れてください(2003年卒業)
- ・ 授業時間に合った(生徒が理解できる)内容の授業をして欲しい(2005年卒業)
- ・ 生徒が興味を持てるように、授業を工夫して欲しい(2005年卒業)
- ・ 覚えさすのではなく、理解させる(2006年卒業)
- ・ 専門技術の大切さを教えてほしい(2006年卒業)
- ・ 卒業研究などでもっと生徒に関わった方がいと思う(2006年卒業)
- ・ もっと実践で使える授業を増やしてほしい(教科書に書いてあることを教えているだけ)。学生ともっと接してほしい(2006年卒業)
- ・ より新しい技術についても教えてほしい(文献が古すぎる)(2006年卒業)
- ・ 教科書通りの授業は、おもしろみがない。実務と結びつけた内容だとなお良い(2007年卒業)
- ・ 原理なども大事だが最新の技術動向を学生に把握させる(2007年卒業)
- ・ 質問しやすい雰囲気(2007年卒業)
- ・ できる子にはムダな課題を与えず、創造活動の時間を与えてほしい(2007年卒業)
- ・ やる気を出させる授業の展開(2007年卒業)
- ・ 大学のように、ただ話すだけ(一方的にしゃべる)の講義はやめた方が良い(私がいた時にしていたというわけではないが)(2007年卒業)
- ・ ちゃんとやれば上にかいてある目標を達成できると思うが、生徒の方がそれを自覚できてないと思うので、力をつけることができると自覚させることが大事だと思う(2007年卒業)

教育(学生との関わり深く)

【専攻科】(9件)

- ・ 生徒と真剣に向き合ってほしい(1998年修了)
- ・ 「教職者」としての意識を。「研究者」になりすぎてはいけない(1999年修了)
- ・ 一般科の先生とは4年から距離ができてしまう(2000年修了)
- ・ 後輩が続々入社していますが、「礼儀がなってない」とよく耳にします(2003年修了)
- ・ 生徒と密に接するという大学にない特徴を引き続き続けてほしい(2004年修了)
- ・ 高専4,5年の担任以外の教員も企業とつながりを作って、フォローをして欲しい(2004年修了)
- ・ 勉学以外にも進路で必要になる事が沢山あります。そこを指導してあげて欲しい(2005年修了)
- ・ 本科1~3年には、研究者としてではなく、教員として接してください(2005年修了)
- ・ 学校の規則はもっと厳しくした方が良い(2007年修了)

【本科】(50件)

- ・ 実社会の様子を4,5年時に知らせるべき。大学とは違うが、社会性が必要と思う(1979年卒業)

- ・ 人間形成される微妙な世代。よき人間関係が育成されるよう指導いただきたい(1979 年卒業)
- ・ 同じ失敗を繰り返さないようにしてはどうか(1980 年卒業)
- ・ 学生の自主性を大切にしていきたい(1980 年卒業)
- ・ 1~3 年生は子供であるから、それなりの対応が必要(1981 年卒業)
- ・ 学生との一体感を持てる姿勢を(1981 年卒業)
- ・ 学生にどんどん話しかけて下さい(1981 年卒業)
- ・ 教育が困難かと思いますが、進めていきたい(1981 年卒業)
- ・ a 項の動機づけ、育成・指導に、力を入れてほしい(1982 年卒業)
- ・ 老いた考えは捨て、考えなおし、企業者を生み出してはどうか(1982 年卒業)
- ・ 高校と大学の中間的扱いではなく、もっと大人の扱い(甘やかすという意味ではありません)による向上心を育てて欲しいと思います(1983 年卒業)
- ・ 将来に希望をもたせる(1984 年卒業)
- ・ 会社でもそうであるが、一人一人の悩みも複雑になっている。メンタルケアを重視してください(1985 年卒業)
- ・ 厳しい指導(1986 年卒業)
- ・ 多くの情報を提供してほしい(1987 年卒業)
- ・ 高専卒として自信のもてる人間を育成してほしい(1987 年卒業)
- ・ あいさつの出来る生徒、また行動力を磨くなにかを(1988 年卒業)
- ・ 希薄な世の中になっているのでコミュニケーションを多くしてほしい(1988 年卒業)
- ・ 社会に出てからも困難に対応できる人間関係について(1988 年卒業)
- ・ 忙しい中、大変でしょうが、学生にたくさんのアドバイスをしてあげて下さい(1990 年卒業)
- ・ 学生への教育に妥協しないように気をつけてください(1991 年卒業)
- ・ 学生への問題意識向上のための指南(1992 年卒業)
- ・ タテ社会の重要性について(1992 年卒業)
- ・ 最近の新卒入社の人には元気がない。挨拶ができない人が多い。技術的なこと以外に一般常識(躰)を身に着けるカリキュラムを設けてほしい(1993 年卒業)
- ・ ある程度高学年になると、企業の動向や企業実習等で社会に出た際の準備をさせてあげてください(1993 年卒業)
- ・ どんどん学生にかかわってください。研究他学習ではもちろんクラブでも(1993 年卒業)
- ・ やっつけ仕事はやめて親身になって下さい(1994 年卒業)
- ・ 学業以外の相談に乗ってあげて下さい(1996 年卒業)
- ・ 学生とのコミュニケーションを積極的にとること(1996 年卒業)
- ・ 専門教育だけでなく、社会情勢に沿った指導をしてあげてほしい(1997 年卒業)
- ・ もう少し学生のことを思って教育してほしい(1997 年卒業)
- ・ もっと学生に考えることをさせたほうがよい(1997 年卒業)
- ・ 学生にも目を向けてほしい教員が数名いたこと(1998 年卒業)
- ・ 自分の研究だけでなく、もっと学生にも目を向けるべき(2000 年卒業)
- ・ 人殺しはもうかんべん(2000 年卒業)
- ・ 将来的に役に立つこと指導してほしいと思った(行動力やコミュニケーション能力の向上他)(2000 年卒業)
- ・ 学生一人一人ともっと話してほしい(2002 年卒業)
- ・ スパルタ(2002 年卒業)
- ・ 当時はとにかく自由だった。自由すぎた。今はどうなのでしょう？(2002 年卒業)
- ・ 学生をびしばし鍛えてやって下さい(2002 年卒業)
- ・ 学生との距離を近く保つこと。大学とのもっとも大きな差はこれでしょう(2004 年卒業)
- ・ もっと厳しくしてあげて下さい(2004 年卒業)
- ・ 学生にもっと経験させるような事をお願いします(2005 年卒業)
- ・ 学生を大切にす体制を整えてください(2005 年卒業)
- ・ 入れかわりが多いので、何とかしてください(2006 年卒業)
- ・ 愛情を持って接してほしい(2006 年卒業)

- ・ 学生ともっとコミュニケーションをとる場が増えると良い(2007年卒業)
- ・ 学生一人一人と密接な関係を築けるのが高専の良い所だと思うので続けて欲しい(2007年卒業)
- ・ 学生一人一人を大切に(2007年卒業)
- ・ 社会でのマナーを身につけられるように教育してほしい(2007年卒業)
- ・ 勉強だけでなく、生活面の指導をしっかりしてほしい(特に1~3年)(2007年卒業)

■ 資質・体制等

[専攻科](3件)

- ・ 教員が率先して学会で発表する事がすくない(1997年修了)
- ・ 若い先生の活躍(テクノアカデミアへの積極的な参加)(1999年修了)
- ・ 実務経験の無い教員は高専に向かないのでは？(大学との差別化)大学や多高専への留学ではなく、企業に留学して実践を身につけていただきたい(1999年修了)

[本科](40件)

- ・ 人事交流をして多様化を図って欲しい(1979年卒業)
- ・ 学生の数倍は勉強・研究してほしい(1980年卒業)
- ・ 企業の開発現場で通用するレベルでの指導可能な人材と環境(1980年卒業)
- ・ スキルアップ(1980年卒業)
- ・ ヌルマ湯につからない様お願いします(1980年卒業)
- ・ 一部を除いては問題のある教員は以前から無かったので、各々信念を持って教育をして頂ければよろしいかと(1981年卒業)
- ・ 会社勤務経験教員を増やすか、生の声を聞ける機会を増やす(1981年卒業)
- ・ セクハラ教員をすぐ退職させる。学内での禁煙(1981年卒業)
- ・ 他校とのコミュニケーションを図り、学生のレベルアップに努めて欲しい(1981年卒業)
- ・ 「大学」と違う感性を持ってほしい(1982年卒業)
- ・ 企業経験者を教員として採用することは有効だったと思います(1982年卒業)
- ・ 研究者としての資質の向上(1982年卒業)
- ・ やる気のある先生を伸ばしてあげて(1982年卒業)
- ・ 地域、社会への情報発信。まだまだ大学に負けている、学生の手本となるべき(1983年卒業)
- ・ 身内の比率が高すぎる(1983年卒業)
- ・ 自らの技術を上げて、指導にあたってほしい(1983年卒業)
- ・ 学生にがんばりと成果が出るように学生に使われる先生になってほしい(1984年卒業)
- ・ 社会人に必要な常識人としての手本を示すこと(1984年卒業)
- ・ 研究と教育者であることの両立、またはその向上(1985年卒業)
- ・ 自ら動けば、何事も解決の方向へ向かえる(1986年卒業)
- ・ 社会性を身につけた研究者であってほしい(1988年卒業)
- ・ 企業が何を必要としているのかも知ってほしい。視野を大きくし、指導してほしい(1989年卒業)
- ・ のんびりしないでくださいね(1989年卒業)
- ・ 企業との交流を持つ(1990年卒業)
- ・ 教育者としても責任ある態度と行動をとってほしい(1991年卒業)
- ・ 就職指導がもっと適切であってほしかった。(1991年卒業)
- ・ 常に一生懸命である(1992年卒業)
- ・ 多くの先生は研究者であっても教え方のプロではなかったと思います(1995年卒業)
- ・ 企業との交流を活発に(1995年卒業)
- ・ 実社会に出て経験を積むことが大事だと思う(1997年卒業)
- ・ 世界を意識した研究。(1997年卒業)
- ・ 研究者のイメージが強い。教える技術のスキルアップを(2001年卒業)
- ・ 自分の研究と学生への教育へのメリハリが欲しい(2002年卒業)

- ・ 個人差がありすぎる。先生のレベルの底上げを(2003年卒業)
- ・ 社会での実務経験を話してあげてほしい(2003年卒業)
- ・ 若手教員の育成と、教養科目の充実(2004年卒業)
- ・ 教員同士のつながり(2006年卒業)
- ・ 今も努力しておられるが、月進月歩の現在の技術について熟知して欲しい(2006年卒業)
- ・ 優し(過ぎる)教員が多い(2007年卒業)
- ・ やる気無い人がちらほらいる(2007年卒業)

■ よい。激励

【専攻科】(4件)

- ・ 一貫した教育方針を続けてください(1999年修了)
- ・ 今までの方向をさらに発展させてほしいです(2005年修了)
- ・ これからも頑張ってください(2006年修了)
- ・ 大学よりも学生サポートがしっかりしてると思うので、このまま変わらなければと思います(2006年修了)

【本科】(17件)

- ・ 「高専」という意識を常に持ち続けていく事が、他の教育システムを選んだ方との差別かとなる為、誇りを持って欲しいと思います。教員の方々には大変お世話になりましたので、この場でお礼申し上げます(1980年卒業)
- ・ 問題なし(1986年卒業)
- ・ 先生方がのびのびしている方が学生にとっても良いことだと思う(1988年卒業)
- ・ 周囲の評価を気にせず、自分の信念を貫いてほしい(1989年卒業)
- ・ 独立行政法人になったけどがんばって下さい(1990年卒業)
- ・ がんばってください(1991年卒業)
- ・ 今のままで(1995年卒業)
- ・ JABEE等により様々な制約が多いと思いますが、先生方の個性を今までと変わらず発揮してください(1997年卒業)
- ・ 卒業後も何らかの形で関係を保ってほしい(1997年卒業)
- ・ 特にありません。学生とのフレンドリーな関係を維持してください(1998年卒業)
- ・ とてもステキな先生方でした(1998年卒業)
- ・ よい(1999年卒業)
- ・ 学生の意欲をひきだすことを今後も続けてほしい(現在は先生方は素晴らしく頑張っておられると思います。)(2006年卒業)
- ・ もっと遊びましょう(2006年卒業)
- ・ よい(2006年卒業)
- ・ 健康に気をつけて下さい(2006年卒業)
- ・ 今まで通り熱心なご指導よろしくお願いします(2007年卒業)

問 5-8f その他(就職等)

【本科】

■ 就職指導体制、先輩の話等

【専攻科】(7件)

- ・ 早めに就職指導をした方が良い(1998年修了)
- ・ 自分のやりたいことが100%出来るわけではないので、臨機応変に対応するようにしましょう(2001年修了)

- ・最初の就職では、会社規模を重点にしていたのですが、あまりにも小回りがきかないため、転職を行いました。将来を考えると、中小企業で自分を磨くほうがいいのではないかと思います(2002年修了)
- ・勉強だけでなく、一般的なマナーも教えていく必要があると思います(2003年修了)
- ・業種の説明(企業の人からの説明)(2003年修了)
- ・企業とのつながりをもっと大事にして後輩の就職を有利にして欲しい(2004年修了)
- ・本科・専攻科を辞めたいという学生は絶対に引き止めてあげてください(2005年修了)

[本科](36件)

- ・企業の開発現場で通用するレベルでの指導可能な人材と環境(1980年卒業)
- ・「高専」という意識を常に持ち続けていく事が、他の教育システムを選んだ方との差別かとなる為、誇りを持って欲しいと思います。教員の方々には大変お世話になりましたので、この場でお礼申し上げます(1980年卒業)
- ・業種は幅広く選択肢があるとよい(1981年卒業)
- ・「働く」という意味を教育してほしい(1982年卒業)
- ・会社での業務内容をできるだけ学生に理解してもらおう(1982年卒業)
- ・将来性の情報を元に紹介して欲しい(1982年卒業)
- ・大手では、大学院卒は、当たり前前の時代になっており、入社後の仕事も区別されるような時代です。本科で就職する人には、実力・希望・職種に沿った会社の紹介をする等にしてもらえれば良いと思います。(例:大手より、しっかりとした中堅会社)(1983年卒業)
- ・学生の望む就職をさせてほしかった(1983年卒業)
- ・求人先の企業分析(将来性)を学校側で独自に行い、生徒に情報提供して欲しい(1983年卒業)
- ・将来何をやりたいか見つけるのも学生生活では大切(1983年卒業)
- ・学生自身が就職を見つけられる環境を整えてほしい(1988年卒業)
- ・OB, OGの話聞く。色々な年代の人から(1990年卒業)
- ・実際の卒業生に意見を聞いて、本当に将来性のある良い会社・学校をすすめてあげてほしい(1994年卒業)
- ・卒業生が転職する際に相談にのってくれるような環境づくりを(1994年卒業)
- ・自分の人生設計(ロードマップ)についても考えたり、話を聞いたりする場面があってもいいかと思います(1995年卒業)
- ・就職に関するアドバイスをしてくれる時間を作ってほしい(1996年卒業)
- ・学生主催の同窓会など良いのでは?(情報が集めやすい)(1997年卒業)
- ・自分で就職先を探す努力をさせたほうがよい(私のときは先生に決められた)(1997年卒業)
- ・就職先の細かい情報や、卒業生の活躍を学生に紹介してほしい(1997年卒業)
- ・就職率は良いが、企業情報を学生に教えてあげてほしい(1998年卒業)
- ・女性の子育てとの両立についてフォローなどがあるといい(1998年卒業)
- ・卒業生の話をいろいろ聞ける場を設ければ学生も就職に幅が出るのでは?(1998年卒業)
- ・地元企業に入れてください(1998年卒業)
- ・県内の就職先も多いと良いと思う(1999年卒業)
- ・高専卒で就職した人が何人かいます。就職活動時にはもっと本当に何がやりたいのか深く深く考える時間が必要だと思います(1999年卒業)
- ・もう少し地元の企業の幹旋してほしい(2000年卒業)
- ・地元就職したい(2000年卒業)
- ・進路に悩む学生によいアドバイス、親身になってあげて下さい(2001年卒業)
- ・教官が世話をしすぎているような気がします(2001年卒業)
- ・企業に就職した自分像を具体的にイメージできるよう、色々な業種の先輩談等あったらいいと思う。(2003年卒業)
- ・土木建設業は厳しい昨今の中で、学生に夢のある就職先を共に探してもらいたい(2003年卒業)
- ・公務員を目指す人などは、高校2~3年のころから特別講義等をもたせて自由に補講をすればよいと思う(2004年卒業)

- ・ 3 年を終了した時点で、大学の編入や専門学校への入学なども視野に入れた進路相談をすると良かったと思う(2005 年卒業)
- ・ サポートしているようでできていないところもあると思う。特に専攻科はもう少しサポートの体制をととのえてほしい(自分でやるのはあたり前ですが)(2006 年卒業)
- ・ 資格の紹介等、もう少し多いと良かった(2006 年卒業)
- ・ 早期(1~3 年)から進路に関する意識向上に取り組んでほしい(2006 年卒業)
- ・ 卒業生のネットワークをもっと生かしてほしい(2006 年卒業)
- ・ もう少し大学進学をサポートをした方がいいと思う(2006 年卒業)
- ・ 就職の説明や進路相談をもう少し教えたり、紹介してほしい(2007 年卒業)

■ インターンシップ等

【本科】(9 件)

- ・ 企業への就職体験などを早くから実施し自身の道すじをつける必要有り(1988 年卒業)
- ・ 企業での研修等、実地での体験なければ「厳しさ」は伝わらない。「厳しさ」を早いうちに学生に気づかせること。また、その「厳しい」条件の中でも達成の喜びを味わってもらうために、少しでも「成功経験」を持ってもらうこと…に学校は注力すべきだと思う。実社会経験に勝るものは無い。カリキュラムの中に積極的に取り組んで戴いた方が良い。また学校そのものが、もっとそのことに気付くべきだと思う(少々甘い)(1991 年卒業)
- ・ 社会勉強をできる機会を自らもつと良い(1996 年卒業)
- ・ インターンシップに積極的に参加したらよい(1998 年卒業)
- ・ 実習に行ったり、その会社に就職している卒業生の話を聞く機会を持つことが大切だと思います(1999 年卒業)
- ・ 社会に送り出して欲しいです(1999 年卒業)
- ・ インターンシップ制度をもっと取り入れるべき(2001 年卒業)
- ・ インターンシップに自由に行かせる環境(2007 年卒業)
- ・ インターンシップを本科の必修カリキュラムに入れたらよいと思う(2007 年卒業)

■ 高専の知名度・評価

【専攻科】(5 件)

- ・ 就職先が大企業が無い。高専が認められていない(1997 年修了)
- ・ 学科にもよりますが、大学に比べてやや不利だと思います。地元企業はウケが良いですが、県外での知名度はまだ低いと思います。学校名のブランドより個人の能力を PR できるように！(2001 年修了)
- ・ 大手に就職した場合、専攻科の知名度の低さが問題になる事も...(2005 年修了)
- ・ 専攻科の就職の斡旋があると良かったと思います。知名度が低いので。。(2006 年修了)
- ・ 高専卒業・修了後の離職について調べた方がよいと思う(2006 年修了)

【本科】(15 件)

- ・ 高専のイメージはよいと感じるが、もっとアピールをしたほうがよい(1980 年卒業)
- ・ 高専の認知度の向上を図ってほしい(1981 年卒業)
- ・ 高専の特殊性が世の中に受け入れられているのが疑問です(1982 年卒業)
- ・ 可能であれば、学士、修士に進むことを勧めたい(1985 年卒業)
- ・ 当時、大学と同等に扱われるような説明をしていましたが、世の中の動きにアンマッチな発言をして、誤解させたまま卒業させるのはしないでほしい(1988 年卒業)
- ・ 一般的に、大学生に比べ高専生の評価は低い。できれば留学等も含めて、様々な経験を積んだのちに、就職したほうがよい(1990 年卒業)
- ・ できるだけ、進学をすすめて欲しい(1989 年卒業)
- ・ やはり学歴は非常に重要。高専へ修士までの一貫教育を基本ポリシーとしてほしい(1992 年卒業)

- ・ 大学進学(1992年卒業)
- ・ 転職にも最終学歴が付きまとうことがあります。大学院は出たほうがいい(1996年卒業)
- ・ もう少し大学への進学を進めていいと思う(1998年卒業)
- ・ 高専の知名度が低く、就職してから、バカにされているようで、悔しい思いをしたことも多々あります。もっと知名度を上げる工夫が必要だと思います(2000年卒業)
- ・ 高専卒は大卒に比べるとやはり不利。進学を勧めたほうが良い(2006年卒業)
- ・ 専攻科の枠が少なすぎて困った(2006年卒業)

■ 就職へ向けての心構え・アドバイス

[本科](38件)

- ・ 今でも英語さえできれば80%以上の成功が手に入る。人間性も必要ですが(1980年卒業)
- ・ 積極的な面を強調すること。やる気をはっきり示すこと(1980年卒業)
- ・ 専門業種につかないと後で苦労する(1980年卒業)
- ・ 学校での教育は基礎であり、企業に入ってから即役立つものではない(1981年卒業)
- ・ もっと勉強しとけばよかった(1982年卒業)
- ・ 学生の能力が活かせるかどうかは、入社した部署で決まる。会社で決まるわけではない(1984年卒業)
- ・ ソフトウェアは資格がなくても仕事ができる。開発実績を示せばどうか(1985年卒業)
- ・ CA科の事件により、世間一般に印象が悪くなった様に思いますが、各自自分を見失わないで、高専生として自信を持った行動に心掛けていただきたいと思います(1986年卒業)
- ・ 自分でじっくり考えること(1986年卒業)
- ・ 高専卒だから大学卒より能力が劣っているということはありません(1987年卒業)
- ・ 卒業時に教材を破棄しないよう学生に伝えてほしい。在学中はよくわからなかったことも、働いてから教材を調べたことがよくあります(1987年卒業)
- ・ 英語力は何とかありませんか(?)今までに苦労しています(1987年卒業)
- ・ 各業界の実状、勤務実態をしっかりと把握することが大切(1989年卒業)
- ・ 学歴に左右されない企業かどうかをみて、就職先を選ぶことが大切(1989年卒業)
- ・ 時代の波があるので「高専」は人生の一部と考えて、その時を楽しみ、全力を尽くしてほしい(1989年卒業)
- ・ 常識を常識と認識する力を持ってほしい(1989年卒業)
- ・ 大企業等にとらわれず、長期的、総合的な選択をすること(1989年卒業)
- ・ プレゼン能力の向上(コミュニケーション能力も)(1989年卒業)
- ・ 大手だけでなく地元の求人にも注目してください(1990年卒業)
- ・ 知識としては、専門的なことは大学生にも負けないが、年齢が若い分、精神的面で負けていると思う(1991年卒業)
- ・ 自分が本当にしたい事、どんな人になりたいかを見極めて就職しよう(1992年卒業)
- ・ 技術力はあると思いますので、プレゼンテーション能力の向上を図るといいと思います(1993年卒業)
- ・ 高専卒を大卒と比較して高専卒が同レベル以上であるという自負をもって進んでほしい(1996年卒業)
- ・ 高専卒と大学・院卒者とで処遇の面で差はあるが、社会人としては問題なく仕事できているとおもう(1997年卒業)
- ・ 決して高専はすばらしいとは思わないこと(1998年卒業)
- ・ 「プレゼン」と「英語」をしっかりやって下さい(1999年卒業)
- ・ 目標を明確に(1999年卒業)
- ・ ガンバレ後輩(2000年卒業)
- ・ 面接では自分を出し切れ(2002年卒業)
- ・ 「プチキャリア」と呼ばれる(2002年卒業)
- ・ 最近、会社に入ってくる新人は元気がないので、元気ができるような指導をして下さい(2002年卒業)
- ・ 自分が何をやりたいか、どんな道に進みたいかをよく考える事(2005年卒業)
- ・ 普通勤務の企業(夜勤等のない通常時間帯の勤務)を選ぶべきです(2005年卒業)
- ・ 礼儀・マナーの教育をして欲しい(2005年卒業)
- ・ 高専でも十分に国家□種に合格できる(2006年卒業)

- ・ 社会に出れば、高専卒、学部卒、院卒の区別なしさらに学生時代にやってきたことは関係なし(2007 年卒業)
- ・ 就職する時は慎重に決めて下さい(2007 年卒業)
- ・ 就職前に会社の雇用体系をきちんとリサーチした方がいいです(2007 年卒業)

■ よい

【専攻科】(2件)

- ・ 今までの方向をさらに発展させてほしいです(2005 年修了)
- ・ 就職サポートがしっかりしてると思うので良いのではと思います(2006 年修了)

【本科】(10件)

- ・ 自分が在学中に、様々な面で向上しているように思います(1984 年卒業)
- ・ ロボコン等で徳山高専をアピールするのはとても良いことですね...(1986 年卒業)
- ・ 私たちの時は良かった(1986 年卒業)
- ・ 私たちの頃はとても就職率が良かった(1988 年卒業)
- ・ ロボコンが強いと話のネタにしやすいため頑張りたい(1990 年卒業)
- ・ 引き続き、就職率の高い状態を保ってください(1993 年卒業)
- ・ 今のままで(1995 年卒業)
- ・ 特になし(2002 年卒業)
- ・ このままで良い(2007 年卒業)
- ・ 進路指導室はとても良い(2007 年卒業)

■ その他(3件)

- ・ のんびりできる芝の公園とベンチがほしい(1980 年卒業)
- ・ 同窓会の出席をお願いします(1998 年卒業)
- ・ 設備の改装など(2006 年卒業)

問 5-9 夢や悩みについて書いて下さい。

■ 夢

< 仕事 >

【専攻科】(8件)

- ・ 多くの人々に使ってもらえる製品を開発する(1999 年修了)
- ・ 博士課程(社会人入学)へ前進中です。頑張りたい博士号を取得し、会社、地域に貢献して参りたいと思います(1999 年修了)
- ・ もっと知見を深めたい(2002 年修了)
- ・ 生産設備のリーダーとなって生産ラインの中心的人物になる事が夢。後輩がうちの企業に入って来てないので、どんでんうちの企業を受けて欲しい(2004 年修了)
- ・ 学生の頃(SARS 流行により中止)オーストラリアに短期留学を予定していましたが、未だその夢果せず…。世界に通用するエンジニアの道はまだまだ遠い！！(2005 年修了)
- ・ 悩み無し、夢:世界を渡り歩く技術者になりたい(2005 年修了)
- ・ 自分が開発に携わった製品が、世界に広まって様々な人の役に立つ事(2006 年修了)
- ・ プロジェクトマネージャーとして1つのプロジェクトを運営・管理できるようになる(2007 年修了)

【本科】(55件)

- ・ 山口県の産学公の連携で新たなプロジェクトを作りたい。アンケートはインターネットで行うようにしてほしい。通信費が無駄(1979年卒業)
- ・ 5回転職したが、多くの人と知り合えたことは大きな財産だと思っている。これからは、人に喜んでもらえる仕事をしていきたい(1980年卒業)
- ・ 自分の表現型効果が世界に広がっていくこと(1980年卒業)
- ・ 職業、職種がら、多くの講演会や講習会へ参加し、情報を収集することを続けているが、内容を理解し、その情報を生かすこと、上手く活用する、そして展開する。これがなかなか出来ないでいる自分を変身あるいは、脱皮させ、新たな技術やシステムを創造し、社会へ貢献する。それが、今の悩みであり、夢でもあります。(1980年卒業)
- ・ せめて処遇が高卒大卒の間となるように努力していきたい。今後の後輩達のためにも(1980年卒業)
- ・ 日本では課長として部下とのコミュニケーションが取れていたが、現在は韓国の現地法人に社長として赴任し日本人は自分一人で、韓国人との文化の違いに戸惑っているが、海外生活を楽しみながら、楽な気持ちで会社を伸ばしていきたい(1980年卒業)
- ・ 高専出身の社長を増やし、会社間の交流を活発にしたい。海外会社の社長をしているが、日本の会社・教育はグローバルに対応していない。ローカル社員の文化を優先しつつ、日本企業の強みを発揮するにはどうしたらいいか日々悩み中(1981年卒業)
- ・ 時代を担うような開発にたずさわってみたかった。入社時は設備エンジニアリングの仕事であったので能力がすなおに生かすことが現在は環境の仕事についている。町の発明家みたいなことをしてみたい(1981年卒業)
- ・ 世界に通じるアーティストになる。病気との戦い。殺人事件は起きるべくして起きた。なぜなら学校が汚い。校長、教員、高専生が毎日清掃活動をしる！清掃活動こそ最高の教育なり(1981年卒業)
- ・ とくに、望んだわけではなくとも転職の機会はきますので、基本的には P. F. ドラッカー提唱する知識集約型社会の主演=知識という資本を内にもつ技術者として自立したいと思いつづけています。それは、スポーツ選手のように引退するまで維持していかなければいけないもので、いい緊張感をもって、進化し続けたいですね(1981年卒業)
- ・ 仕事は定年になったらおしまいなので、それ以外の分野で力を発揮できるよう頑張っています。具体的には、マラソン、バンド活動、絵を描くといったことです。人生をエンジョイすることが重要(1982年卒業)
- ・ 自分が社会に貢献していると思う気持ちで社会にでていく。「継続は力なり」で仕事を日々頑張りたい(1982年卒業)
- ・ 本田宗一郎に少しでも近づきたい(1982年卒業)
- ・ ロボコン優勝、映画化(見に行きました)など、母校の活躍、うれしくもありたのもしく感じています。夢というか希望(要望)に近い想いを述べます。ロボコンでの技術力を宇宙開発でのロボット技術に活用、応用してほしい。産学官体制が陽の目を見ないことが多いですが、最近の中国(China)の宇宙分野への意気込みは脅威を感じます。(少し話が大きくなりました)これからのますますの貴校の発展を願ってやみません(1982年卒業)
- ・ テクノロジーは日々進化し、それに合わせるかのように環境問題、教育問題、企業問題など新しい問題が出てきている。これらの問題を解決するために、更なるテクノロジーが必要なのか、輪廻になっているのではと思う。社会の中で生きることとして、何が大切なのか、年代によって考え方は違うし、変わっていくと思う。しかし、技術力とともにそういった人生において世界を見渡せるようになることも大切だろう(1983年卒業)
- ・ 社会人コースがあったらおもしろい。もう一度高専に行ったら勉強すると思う(1985年卒業)
- ・ 技術者として、もっと多くのことを学び、仕事に活かしたい(1986年卒業)
- ・ 早期退職し、海外に渡り、技術者の育成にあたりたい。40才を過ぎてしまいましたが、今までも教育に携われる道は無いものかと考えたりします(1987年卒業)
- ・ 学生時代に描いた夢はかなったが、夢を持ち続けるのは難しい(1988年卒業)
- ・ 現在年4~5回の割合で海外拠点に技術指導・会議等を行っています。将来的には海外の設計者を使って各地の要望に合った製品をタイムリーに開発することが夢ですが、英語力がないのが悩みです(TOEIC 490点程度)(1988年卒業)
- ・ 悩みについては、現在、これといってない。夢はやはり“いい仕事”をすることです(1988年卒業)

- ・日本の技術を海外に広めていきたい(1990年卒業)
- ・一流のSE(SI)になること(1991年卒業)
- ・今日までの日本のものづくり技術との融合・交流(1991年卒業)
- ・地球環境に優しい製品が開発できればと思っています(1991年卒業)
- ・今は家庭に入っていますが、いずれは又働きたいと思っています(1993年卒業)
- ・技術力とマネージメント力の。両輪が業務遂行には必要であり、今後も身につけていくよう努力するつもりです。母校もますますのご発展を期待しております(1993年卒業)
- ・現在の夢は、自分で企画、構想した部品が形となって量産され世の中の役に立つことです。悩みは将来に向けた自分のロードマップと得意分野の明確化です(1995年卒業)
- ・海外へ行く機会もあるので英語を話せるようになりたい(1996年卒業)
- ・研究・開発、設計・開発よりもマネージメントに移りたい今日この頃。大企業は枠にはめようとする風習がいまだに残っているところが辛い。夢は早期リタイアです(1996年卒業)
- ・多忙のため家族に寂しい思いをさせているのを申し訳ないと思っています。要領よく業務をさばいてゆきたいと思っています(1996年卒業)
- ・今は、高専が学んだこと以外の道で自分で仕事を始めたので、この仕事が起動にのってくれればと思う(1997年卒業)
- ・特になし。夢:社長(1997年卒業)
- ・外国のカスタマーを対象に事業展開していく予定です。ぼちぼちやっていきたいと思っいます(1998年卒業)
- ・資格取得(電験3種)(1998年卒業)
- ・高専時代に教えていただいた“世界に羽ばたくエンジニア”の言葉を胸に、それを目標として日々働いています。高専時代に得た知識や友人は今でも私の財産です。それらを元に世界で活躍できるエネルギー技術者となるのが私の夢です(1999年卒業)
- ・夢:1級建築士として独立 悩み:なし(1999年卒業)
- ・専門分野で活躍する人と対等に議論できるようになりたい(1999年卒業)
- ・現在はスポーツも頑張っているので、仕事とスポーツの両立を目指している(2000年卒業)
- ・素敵な家庭生活をするため結婚もしたいが、やりがいのある仕事なので、仕事をつづけたい。学生時代に真の友達が見つけれなかった。社会に出たら人とのコミュニケーションが重要になる!と痛感しています(2000年卒業)
- ・夢:取れる資格は全て取る! 悩み:この頃、あまり意欲が湧かない(2001年卒業)
- ・今の仕事場では、高専の評価は高い方です。大学生ほど、仕事量や力は望まれていない中で、力を持っている高専卒。工業系を出た高校生と同じような密な接し方をしてくれることによる、付き合いの広がり。私が働いている系のラインが大学の院卒ばかりで「力のなさ」を実感しております。文章作成能力、説明能力、企画力等、力を入れて取り組むことを望んでおります(2002年卒業)
- ・すぐれた研究成果を出すことが夢です。悩みはなかなか論文が書けないことです(2002年卒業)
- ・公務員の将来は、先行き不透明です。しかし、就職超氷河期に公務員になれたのは、高専での勉強のおかげだと思っています。充実した家庭生活を送れるよう、今後も仕事に励みたいと思います(2003年卒業)
- ・トップセールスに入り、高専生のレベルの高さを証明できればと考えています(2003年卒業)
- ・世界的に活躍する技術者になること(2004年卒業)
- ・HONDA, SONY に負けないロボットを作る(2005年卒業)
- ・海外駐在せず、国内で仕事したい(2005年卒業)
- ・機械電気工学科を卒業しましたが、情報通信系の企業に就職したく思い、努力しています(2005年卒業)
- ・夢は将来環境問題に関連した仕事や活動につくこと。悩みは今の仕事で数字で結果を出さないといけない為、自分のできる事を日々考えています(2005年卒業)
- ・私は希望したところに一応就職が決まったので、大学生と違う高専卒として、できることをしたいと思っいます(2006年卒業)
- ・技術者になります(2007年卒業)
- ・高専で学んできたことを生かし、建築士になりたいと思う(2007年卒業)
- ・プロジェクトリーダーになりたい。そのためには、PGかSEになれるようがんばります(2007年卒業)

- ・私の就職した会社では初となる高専本科卒での研究職についています。今はこの仕事で周りの人に認められることが、今の私の夢です(2007年卒業)
- ・高専では、材料や力学について学んだので、大学では制御・電気を中心に学んで、産業用ロボットの製造などに関わりたい(2007年卒業)

< 人生・生活 >

【専攻科】(3件)

- ・海外で生活する(2001年修了)
- ・現在は東京で働いているのでゆくゆくは地元で働きたい(2004年修了)
- ・納得できる人生を送りたいと思います。そのためどうすべきか考えているところです(2005年修了)

【本科】(16件)

- ・自分の手でマイホームを設計する事。2年前にかないました(1980年卒業)
- ・日々楽しく過ごしていますが、この毎日が継続できるようにすること。夢とはいえませんね。楽しくやっているテニスの技術向上(1980年卒業)
- ・このままで良いのか日本。世界に羽ばたくために、日本のあるべき姿日本のいいところを世界に広めてほしい。石油社会を脱することによって、世界平和に繋がると思う(1982年卒業)
- ・人生、勉強や仕事も大事であるが、体や心の健康や、周間(仲間・家族)があつてこそ。幸せはそこにあり(1982年卒業)
- ・ハッピーリタイヤで故郷で暮らすこと(1982年卒業)
- ・学生時代に描いた夢は風前の灯となり子供たちの成長だけが生甲斐となりました。これからも希望の持てる将来性ある徳山高専であってほしいと思います(1984年卒業)
- ・会社を離れても自立できること(1985年卒業)
- ・子供の成長(1989年卒業)
- ・家族の健康と繁栄(1996年卒業)
- ・夢:年末ジャンボ当たりますよーに。悩み:年末ジャンボ当たるかな?(2000年卒業)
- ・自分が誇れるような子供ができること。健康でいればよい。趣味をもっと充実させていきたい。一生勉強一生青春(2004年卒業)
- ・悩みは特になし もう少し金を貯めてひとり暮らしでもしたいとは思っていますが...(2006年卒業)
- ・成り上がる(2007年卒業)
- ・夢:マイホームを建て、自社商品(水まわり商品)に囲まれて暮らすこと。悩み:今の会社は給料こそ違うものの、高専卒も院卒も同等に扱ってくれている。ただ、院卒と比較に時として人生経験の差を感じることもやや悩みである(2007年卒業)
- ・夢は地元の県庁に就職して幸せな家庭を築くこと(2007年卒業)
- ・経済的に自由を得て、好きなことやチャリティーをしたい(2007年卒業)

悩み

< 仕事 >

【専攻科】(11件)

- ・高専は制度がもう現在の日本に必要な。技術者よりも開発者が必要だからである(1997年修了)
- ・英語を勉強しておけば良かったです(1998年修了)
- ・就職先があれば紹介していただきたい(1998年修了)
- ・昨年の土木業界の不景気で将来に不安を覚えた。実際に現場で肌で感じた(2000年修了)
- ・資格取得の為の勉強時間が取れない(2001年修了)
- ・社会に出れば、やりたい事とギャップは必ず生じます。そのギャップに耐え、楽しんで行く事が重要なと思います(2002年修了)
- ・今の会社では、自分のしたいこと(きっと会社にプラス)に制限をかけられてしまいます。転職したいですが、

- 年齢的な問題もあるので、上手くいくとも思えず、悩んでいます(2003年修了)
- ・ 悩み:資格をとれる時にとれば良かった(2003年修了)
- ・ 私については特に悩みもないので、同期に卒業した友人の悩みを書いておく。彼は大手に就職したが、専攻科という知名度の低さから、入社時期の人事で自分の狙った部署に所属されず、今でもつまらない仕事をずっと行っているらしい。(大学生は狙い通りの部署に)また、大型プロジェクトにも参加させてもらえない、忘れられているともらしていた(2005年修了)
- ・ 今の高専本科卒では、社会的扱いは高卒・短大卒と変わらない。専攻科は社会的知名度が低い。教育目標を実現するには、結局大学への進学をしなければ達成できないように感じられる。以上の事により、高専の現状は大学進学のための養成場であり、最終学歴にするには損だと感じるのが残念である。高専の本来の存在意義と教育目標は素晴らしいので、実現を願っているのが夢である(2006年修了)
- ・ 職場が化学系の人達ばかりで、機械系の自分は重宝されますが、逆に化学の一般知識がないため、話のレベルについていけない(2007年修了)

[本科](77件)

- ・ 仕事量の減少における収入減(1978年卒業)
- ・ 定年まで体力が保てるか不安。管理職になりたいが、なれない(1978年卒業)
- ・ 会社生活が長くなると、交友範囲が決まってきます。どうやって広げるかが課題です(1979年卒業)
- ・ 学生の時にもっと真剣に勉強しておけば良かったと、後悔しております。現在はかなりのベテランの域に達したため、今後は後進の教育に力を入れて行きたいと考えております(1979年卒業)
- ・ 学生時代(卒業直後)と今では、技術的にかなり違ってきているので、最近の新しい事を勉強するのが大変(1980年卒業)
- ・ 現在カナダに住んでいます。英語をもっと勉強しておけばよかったと反省の日々です。英語は不可欠ですね(1980年卒業)
- ・ 公共工事が少なくなり、土木の技術者が少なくなるのでは、維持管理に予算がまわり、技術力を発揮しにくくなるのでは(1980年卒業)
- ・ 土木の先が見えない(1980年卒業)
- ・ 長い人生において今すべきこと考えながら日々過ごすことを身に付けることの重要さを最近になって理解できるようになった。会社の経営をしている立場上、今後どのように会社を大きくするかそして、それと自分の人生との関係をいかにバランスを保つかに苦労している(1980年卒業)
- ・ 仕事内容よりも、人間関係をどうするかということが大きい(ひょっとしたら小さいことかも)問題です。自殺したり、体調を悪くするものがあると何もしてやれなかったことがつらいです(1981年卒業)
- ・ 自分の得意分野でよい結果を出すことが、会社にとっても、人類にとってもよいことであると思っています。逆に、苦手な分野で悪い結果を出すと、何もいいことはありません。もちろん苦労してこそ人間は成長するのですが、40を過ぎると、失敗が命取りとなることもあります。あえて会社が自分に対し、苦手な仕事を与えてきた場合、どのように受け止めて良いのか、大変悩みます(1981年卒業)
- ・ 教養力を身につけなければと考える(1982年卒業)
- ・ 土木工事に関して25年間携わって来ました。バブルを過ぎた頃から金銭的、技術的に大変厳しくなりました。現場監理よりも書類作成におわれる、近年の建設業に疑問を感じます。(1982年卒業)
- ・ 専門以外での職業についている 卒業生には好きな高専ではあるけれど何かおまえらは関係ないって言われているような気がする。徳山高専もいろいろあるであろうけど、卒業生もいろいろな人間がいると思う。大好きな母校から否定されているような、感じがしてならないのは、気のせいでしょうか？やはり勉学も必要でしょうが、人間育成としての場でもあるのですから・・・(1983年卒業)
- ・ 何が自分に向いているかわからない。苦手なことが本業になったりする。気力体力が必要。(1983年卒業)
- ・ 独立したいが、今の時代を考えると無理(1984年卒業)
- ・ 日々の仕事に終わられて夢を語る余裕もないのが悩み(本当はそんなことで悩んでいるヒマもないです)(1984年卒業)
- ・ 夢を持ってやりがいを持って転職したが、中小企業と大企業では、そこにいる社員の底力、レベルに大きな差がある。最後には、やりたいこと、やりがいのある職に就くとしても、大企業で育てられた方が、その後の評価や行動指針など利になる点が多くある。逆にやりがいの職に没頭しているときは良いが、年齢と共に要

職につくとショックも大きい(1984年卒業)

- ・ 1985年当時は、やはり学歴主義であり、自分もその波の中で悩みましたが、現在の会社においては確実に実力主義、成果主義になっているので、他の人より多く努力して成果を残せば、その分評価につながってくるので、やりがいがある。しかし、その反面、高度な技術の進歩により、コンピュータシステム自体の難易度が高まり、その対応する技術者のスキルも高いものが要求される。そのような中で、自身を失い、過労によりリタイヤする技術者が増えている(心の病)のも事実。学生時代からしっかりした技術力を身につけておくことが社会で生き抜くためには必要です(1985年卒業)
- ・ 今の会社はむかしは海外での仕事が有りましたが今は無いことです(1985年卒業)
- ・ 学歴社会において評価がかなり低いこと(1986年卒業)
- ・ 建設業界全般が不安(1986年卒業)
- ・ 40になるまでは技術の進歩が早く、顧客(ユーザ)や部下に負けないよう技術スキル面がづらいこともあった。管理職になってからは、プロジェクトをいかに効率よく運営していくかが大切となり、コミュニケーション能力、人材育成が重要となった。IT分野でもプロジェクトマネジメント能力を重視する傾向であり、技術屋からすると少し不得意分野にブチあたっている状況です(1987年卒業)
- ・ 仕事人間となりつつある自分が怖い。もっと楽しい人生を望む(1987年卒業)
- ・ 中小企業に就職すると1つの仕事だけでできればOKでなく、何の仕事でもやらなければならない。その為には資格や知識が必要になる。たくさん覚える事などがあり、仕事をしながら資格を取るのが大変で悩んである(1987年卒業)
- ・ 技術力はあっても、学歴で判断されることが多い(1987年卒業)
- ・ 今は主婦なので専門分野とかけ離れて生活しています(1988年卒業)
- ・ 学士を取らずに就職したことが人生でもっとも大きな失敗だと思っています(1988年卒業)
- ・ 行政改革という波がおしよせ、新しい人材(卒業生)が入所しない(1988年卒業)
- ・ 語学力以外は、大学卒に比べてもまったく問題ありません。ただし、語学力(英語)ではかなり差があり、苦勞しています(1988年卒業)
- ・ 仕事づけの毎日の会社に入ってしまう、仕事でおいつめられた毎日を送ってしまう、個人の問題かもしれないがいまだに結婚できていないこと(1989年卒業)
- ・ 収入と支出のバランスが悪い。社会不安からくる資産運用をはじめているが、エンジニア本来の姿から遠くなっているような気がする(1989年卒業)
- ・ 公務員も身分の安定しない時代。今後の生活に不安あり(1990年卒業)
- ・ 私はただなんとなく学生時代をすごし、なんとなく社会で働き、結婚して主婦となりました。もう少し自分の技術者としての将来について学生時代から意識して考えればよかったと後悔しています。高専は5年間、外部からの刺激を受けることが少ないので、自分の視野を広げることが難しいように思います。人生何事も遅すぎるといことはありません。高専時代が無駄だったとも思いません。ただ、出発が遅かった分、社会に出て思い悩むことが多かったように思います。後輩の方たちには同じ誤ちを繰り返さないでほしいと思います(1990年卒業)
- ・ 周囲に同性の同じ職種の人で定年まで働いた人がいないので、10年、20年後、どのようになるのかがまったく想像できない。いつまで今の職場で働けるのか不安だ(1991年卒業)
- ・ 地元での就職が限られること(1992年卒業)
- ・ 私の従事する土木分野では、とかくマスコミの非難の対象になりがちです。談合などはもちろんよくないことですが、その一方で、現代社会生活には欠かせないインフラ整備を行っているのも土木工学です。マスコミ連中は、あたり前のように道路、鉄道、水道を使っていますが、その部分は全く触れず、土木は悪のような報道をします。このような不健全な世論が是正され、技術者が夢をもてるようになればいいと思っています。(1992年卒業)
- ・ 1度職を離れてしまうと、再就職が難しいこと(特に子供を持つと)どんな環境の人でも平等に働く機会が与えられる世の中であればと思います(1993年卒業)
- ・ 英語力がない。もう少し地方企業に貢献したい(1993年卒業)
- ・ 英語をもっときちんとできるように学生時代にしっかりやっていたらよかったと思う。仕事をしていたとき必要であったし、今後海外に行くことがないとはいえないので(1993年卒業)
- ・ 海外での独立企業をしたいが会社でも中型となり、信頼度が増している為現状は無理である(1993年卒業)

- 業)
- ・ 学歴の壁を感じる事が多い。職場での立場が低い。高専卒の社会的地位を向上させたい(1993年卒業)
 - ・ 実際のスキルで勝っていても大卒や院卒に勝てないこと。「能力は大卒。給与は高卒」という会社にとっては非常に都合の良い人材になり下がってしまっている事。総合職>技術職という固定概念(1994年卒業)
 - ・ 就職難であったため、自分の希望する職種につくことができなかった。女性の就職率 up を！(1994年卒業)
 - ・ 現在の職場で、独法化の話が持ち上がり、将来に不安を覚えています(1996年卒業)
 - ・ 高専卒だと、技術的には大学並ということで、重宝されますが、給料的には高校卒と変わらないということもあり、待遇が中途半端になりがちです(1996年卒業)
 - ・ 実力は同じでも学歴で年収に差がある(1996年卒業)
 - ・ 卒業後、官公庁に勤務していましたが出産、育児で仕事を離れる事になってしまいました。女性が働くには周囲の協力と理解が必要です。特に女性の後輩達に頑張ってもらいたいです(1996年卒業)
 - ・ 今の会社で良いとは思えないが、他で生かせる技術は身につけていない点、今の年齢からすると収入は減ってしまうだろうという点から続けていかなければならない悩みはある(1997年卒業)
 - ・ 現在の職業は高専卒で能力を發揮できる内容とは程遠く、転職を常日頃考えています。地元の職業に就くことが夢です(1997年卒業)
 - ・ 地元就職したが、現状の給料が安く、しかも未来に希望が持てない。実家から通勤という便の良さはあるが、この先、転職するほうが良いかそのまま残るほうが良いか。勤続年数も10年と長いため、簡単に結論が出せず悩んでいる(1997年卒業)
 - ・ 年齢が若いと評価されないことがある。旧帝大卒のほうが能力が上と見られるが実際に行動と成果が伴っていないことも多い。上司の考え方が一番の問題(1997年卒業)
 - ・ もう少し高専の施設を役立てて勉強すればよかったと思う(1997年卒業)
 - ・ 中小企業では、出産・育児休暇の体制が整っていないため、実際に自分が直面したときにどのような扱いをされるのか不安です(1997年卒業)
 - ・ 現在育児のため休業中です。再就職の際、高専を卒業したことを生かした職につきたいと思っていますが、厳しいのが現状です(1998年卒業)
 - ・ 現在職についていませんが、何年後には復職したいと思っています。在学中にもっと勉強しておけば良かった...(1998年卒業)
 - ・ 高専は私にとって夢と希望を与えることはなかった。しかし、それは私自身の問題。社会はやはり厳しく高専卒になかなかチャンスを与えてくれない。でもおかげでタフになって強くなった。ようやくそう考える。これから“夢の扉”をこじ開けます(1998年卒業)
 - ・ 子育てしながら仕事を続けるのはほぼ不可能。技術的な仕事は残業も休日出勤も多くなるため、女性はずっと続けることが難しいと感じている(1998年卒業)
 - ・ 「土木」という職種で、「女性である」ということをどのようにして生かしていくか。足りないところ(体力など)を何で補っていくか。周りの人に気を遣わせないでいかに協調していくかが定年退職するまでの私のテーマです！！(1999年卒業)
 - ・ 私は、土木技術者として、役所に就職しました。仕事内容は、設計、監督から、計画など様々ですが、時々、土木関係以外の部署にも行ってみたいと思うことがあります。現実的には少し難しいのですが…。悩みはそのくらいです。夢は…というか目標？家事、育児と仕事を両立させることです。あまり参考にならなくてすみません(1999年卒業)
 - ・ 今後、第一線でなくとも、女性が将来働いていける環境が少ない事が多少の悩みです(2000年卒業)
 - ・ 4大卒の人と同じ業務を行っているが、待遇に差がある(本科卒のため)(2001年卒業)
 - ・ けっこう一生懸命勉強していたつもりでも、実は本質も理解しておらず、電気系に関しても困ることばかり。あとは働く上では資格がモノをいうので、学生のうちに(勉強できるうちに)有効な資格(電気主任技術者とか)を取るような制度(?)を作ったほうが良いと思う。働きだして家庭を持つと、なかなか資格勉強は難しい。…というのは言い訳かもしれませんが(2001年卒業)
 - ・ 働いていても思ったほど金はたまらない。収入の分だけ欲も出る(2001年卒業)
 - ・ 自部署に女の子がいないこと(2002年卒業)

- ・ もう一度高専に戻って勉強したいと思う気持ちがあり、気軽に参加できる講義等があれば参加したい(2002年卒業)
- ・ 高専卒だと開発業務につかせてもらえない。会社方針では、大学卒に研究をやらせ、高専卒は管理業務をさせるみたい(2002年卒業)
- ・ 私は4年間 SE として働き結婚退職しましたが、会社自体は高専卒の人材を即戦力として評価してくれました。しかし、給与や賞与としては、大学卒や大学院卒に比べるととても厳しいものです。また技術力はもちろんですが、コミュニケーション能力や問題解決能力が社会では重要視されることを知りました(2003年卒業)
- ・ 体調や精神に不調をきたすこともありますが、続けることも財産を思い、やっていこうと思います。(2004年卒業)
- ・ 専攻科があまり知られていないため、大卒よりも軽視されがちなのが気をする(2006年卒業)
- ・ 間に消える残業、上司のわがまま、業務分担の不均一、社内外への嘘、費用対交果の欠落、…その他イロイロ(内部告発)ありますが、めげずに生きております。スポーツカーで通勤してたまにミニサーキットで走る…。夢？思い描いていたものを忘れました。助けてください(2006年卒業)
- ・ 私は大学に進学したが、数学や英語でつまづくことが多々あります。基礎は一朝一夕で身に付くものでもなくて、高専のときにもっとしっかりやっておけばと思う部分もありますが、今からでも地道にやっていこうと思います(2006年卒業)
- ・ 自分の夢や理想を実現するのはとても難しいことでした(2007年卒業)
- ・ 進学したのですが、就職に向けて現在、就職活動をしています。希望の会社に入社できれば良いのですが、正直不安なところもあります。しかし高専で学んだことに自信をもって、試験に望もうと思います(2007年卒業)
- ・ やはり高専卒ということで大学等に進んだ方よりも不利なイメージがあります。就職して思ったことは、入社後の本当の待遇を、既に働いている方に聞いて、自分が納得できる会社に入った方が良いですね。いくら仕事内容が好きな内容でも、労働時間に合った待遇でなければなかなか続けることは難しいと思われれます。働いてはいますが、今大学に行きたい気持ちでいっぱいです(2007年卒業)
- ・ 情報系の知識が足りないの、そこを勉強しなおしています。悩みというレベルの話ではないが、そこをもう少し詳しく勉強していれば良かった(2007年卒業)
- ・ 具体的な夢というものがないというのが悩みかもしれません。大学にきてみたはいいものの、何がしたいという具体的な目標に出会えてないのが現状です。就職した友達なんかの話を聞いて、就職したあとの出世の仕方なんかを聞いて、大学院までがんばってみようかと考えているところです。何をしたらやりがいを感じて、やりたいと思うのか、今いろいろな人の話を聞きながら、考えたりしています。上の教員に望むことになるようですが、生徒に、そういった話とかをひまがあったらしてみせてあげてください(2007年卒業)

< 人生・生活 >

[本科](6件)

- ・ 老後が心配。(1982年卒業)
- ・ 高専5年間で自分の目標がなく、ダラダラと過ごしたことを後悔しています(1984年卒業)
- ・ 現状の生活において、自由になる時間が非常に少ない(1994年卒業)
- ・ 夢がないのが悩みです(1994年卒業)
- ・ 夢ではごはんは食べられません(1994年卒業)
- ・ 就職してすぐ神奈川に行きましたが、やはり一人暮らしが大変だと感じました。最近山口に帰ろうか、とも考えます(2006年卒業)

< 学生へのアドバイス・激励・応援 >

[本科](20件)

- ・ PR 事業をより多く展開し、開かれた教育機関を望む(1980年卒業)

- ・ 柔軟性, 応用力を高める努力をさせて欲しい(1981 年卒業)
- ・ つい最近まで「実現しないもの」=「夢」だと思っていました。「夢」~「自分の目標」なんですよ。『いつまでに〇〇を□□してやる』こんなアプローチを早く知るべきでした。もう47歳ですが、まだまだこれから。毎日の目標を朝、紙に書いて、がんばっています。高専では五年間、寮生活。たくさん友人にかこまれて、本当に楽しかった。悩み...たくさんあります。でも 1 人で悩まず、まわりの人に相談しながらなんとか生きてきました。「正直に生きていれば、何とかできる」そんな風に思います。徳山高専, 大好きな母校です。応援しています。(1981 年卒業)
- ・ 技術力を持った部下が必要です。高専は、学校の数を増やすべきだと思います。また、地方の企業では「国語力」も必要です(1982 年卒業)
- ・ 学校への愛着が薄い。(ex:東京六大学の卒業生は学校を身近に感じる人が多い。駅伝, スポーツ...それに比べると...)(1985 年卒業)
- ・ 学生時代はよく勉強しておくことですね(1986 年卒業)
- ・ どちらも書き表せない(1986 年卒業)
- ・ いつまでも、夢を持って、それに向かって頑張りたい。悩むよりも、実行してみることが大切。必ず解決できると信じて頑張りたい(1989 年卒業)
- ・ 何らかの形で、徳山高専の5年間で受けて御恩にお返しができる事を夢みております。(1991 年卒業)
- ・ 私は、転職等した関係もあり、いまだ結婚にこぎつけていません。とりあえず 40 近くになる前に結婚しておきたいというのが夢でもあり、悩みです。徳山高専の方で去年、いたましい事件がありましたが、後輩たちにはくじけずに頑張りたいと思います(1991 年卒業)
- ・ 最近、会社に入社してくる若者はすぐに辞めることが多い。私自身、何度も辞めようと思う事があったが、現在も頑張っている(1992 年卒業)
- ・ 私は争いや競争といったものが嫌いで、現在のような競争社会には不向きだと思います。そんな私の夢はというと、人並みの生活が出来ておだやかな時間を持ちたいといったものです。なんと抽象的でしょう。自分が何をしたいのか、どんな人に成りたいのか、これが具体的に示めず人生設計もあいまいになりがちです。技術者としては何にこだわるのかはっきりさせ、計画的に成長するべきだと思います(1992 年卒業)
- ・ 将来的に徳山高専の後輩達のために、母校のために貢献したい(1997 年卒業)
- ・ 徳山高専がこのまま通り、社会(世界)に通用できる人材育成を進めてほしい(1997 年卒業)
- ・ 昨年か一昨年の不幸な事件についてずいぶん心配しました。女性は出産することで取得した資格が活かせず非常に残念な思いです(1998 年卒業)
- ・ 高専の強みは、15才から各専門を選択したということだと思う。なので、1年から、具体的にどんな職種に就きたいのかを意識させるべき。その為の人生設計も年に何回か書かせるべき。卒研テーマも1年時から書かせるべき！1級建築士受験時、1年や2年の頃に受けた授業内容を忘れてて辛かった。わりとまじめに聞いてたつもりなのですが、意識が低かったのか覚えてない。技術者育成を目指すなら、資格取得は必須なので、最低項目として意識して学生育成して欲しいなと思います。職業訓練所や、2年専門学校とのコラボもあって良いと思いますせっかくの5年制がそれほど生かされていない気がします(1999 年卒業)
- ・ 徳山高専がいつそう発展すること(2006 年卒業)

<その他>

[本科](4件)

- ・ このアンケートによって不利になる解答は削除されるのか(1979 年卒業)
- ・ 山口県(2000 年卒業)
- ・ 特記事項なし(2000 年卒業)
- ・ 入社したばかりなのでわかりません(2006 年卒業)